

地域で学び、地域と共に歩む松本大学の今。

松本大学学報

sokyu 蒼穹

2018.6 Vol.131



松本大学研究ブランディング事業キックオフ・シンポジウム開催(詳しくはP.9をご覧ください)

特集

全国モデルとして注目される 教育課程に取り込んだ実践型教育

..... P.02

- 学校法人松商学園 新理事長就任 P.04
- 学校法人松商学園創立120周年記念・松本大学開学記念日
ノーベル物理学賞梶田隆章博士講演会開催 P.06
- 原村と連携協定締結 -村民の健康づくり推進事業を支援- P.06
- 教育学部公開講義 尾木直樹氏「教員をめざすあなたへ」開催 P.07
- 9号館の建設着々と P.10 ほか

全国モデルとして注目される 教育課程に取り込んだ実践型教育

本学では平成15年度の文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」に松商短期大学部が選定されたことをきっかけに、地域をフィールドに地域と連携し課題を見つけ、大学での学びを活かしつつ「現場」から「理論」へと向かう独自の実践型授業に取り組んでいます。この取り組みは今では全国モデルとして注目を集めるまでとなりました。そのひとつである買い物支援事業が10年目を迎えたことから、最近の事例をいくつかご紹介します。

case ①

10年目を迎える買い物支援事業 「もったいないプロジェクト」

観光ホスピタリティ学科 教授 白戸 洋

観光ホスピタリティ学科白戸ゼミナールが2009年度から取り組んできた買い物支援事業は、中心市街地に住む高齢者が日常の買い物に不便を強いられる、いわゆる「買い物弱者問題」の解決を目的とした研究・教育活動です。2009年夏に新村の畑に捨てられていたトマトがもったいないという学生の想いから、翌年には当時としては珍しかったリヤカーでの行商スタイルで家々を回って販売するという「もったいないプロジェクト」として事業が始まりました。「捨てられてしまうB級野菜の販売」(2010年)「買い物に困った高齢者の支援」(2011年)「地域のつながりづくり」(2012年)と、毎年学生が新しい発想でリヤカーによる松本駅アルプス口周辺での販売は2017年度まで継続して取り組んできました。

さらに2015年に上土商店街にカフェあげつちがオープンしたことをきっかけに「買い物支援ステーション」を設置し、買い物支援事業のマネジメント体制を整備し、アルプス口周辺での販売に加え、上土商店街における事業を新たに展開しました。

上土商店街では、「カフェあげつちにおける地元農家の野菜販売」(2015年)、「入山辺産の野菜の学生による販売と日用品の試験販売」(2016年)、「入山辺地区の農家による野菜の直売」(2017年以降)と生産農家と顧客



のニーズを踏まえながら野菜の販売を続けています。

買い物支援事業は、「地域共同研究」や「地(知)の拠点整備事業」としてさらに、2014年からは学生が地域の課題を研究し解決する「地域課題研究」の講義のテーマとしても位置付けられています。また白戸ゼミナールの卒業研究のテーマとして、特に2016年には「居場所の研究」の実証実験としてリヤカーによる戸別販売に加え、店舗前での販売や巾上南公民館

▷新しい展開へ

買い物支援事業を開始した当初は、一般的にはまだ買い物問題は深刻な問題として捉えられておらず、松本市内でも企業が、採算を度外視して、地域の公民館において野菜を販売している他は、具体的な取り組みもありませんでした。しかし、買い物問題が全国的に社会問題化する中で学生の「もったいないプロジェクト」は各方面から注目されましたが、実際に買い物支援事業をビジネスとして立ち上げるには、まだニーズが小さく、民間の事業はほとんどありませんでした。しかし、「もったいないプロジェクト」の準備段階から地元の倉庫会社や全国規模の運送会社、行政などが関心を示し、協力を頂いていた一方で、企業や行政にとっても学生による買い物支援事業をヒントに、後に新たなビジネスが構想されることとなります。

ここ数年、大型店の新規開店などで市内の商業地図が変化し、高齢化の進展に伴って、買い物支援事業がビジネスとして成り立つようになり、大型トラックによる訪問販売やコンビニエンスストアにおける野菜の販売などが開始されています。そこでリヤカーを



など身近な場での販売を実施し、比較研究を行ないました。特に2013年には私学事業団の研究助成を受け、地方都市地域における買い物支援問題についての研究が行われ、松本地域における買い物問題の実態を調査しその解決に関する提言を行っています。

使用した実証的な取り組みから、現状を踏まえた新しい取り組みに転換することとなり、その検討が、2017年度の活動を通じて地域課題研究やゼミナールの学生によって進められてきました。

2018年度に新たに取り組むべき実証的なモデル事業は、既存の商店や商店街、コンビニエンスストアとの連携や空き屋などを活用し地域に多世代の居場所を創り、そこに集う人への野菜等の販売などを検討しています。具体的には、上土商店街や田川地区にある青果店を拠点として野菜等を販売し、仕入れルート等を整備する、またアルプス口のコンビニエンスストアに野菜販売コーナーを開設し、近隣の高齢者の日常的な買い物の場を確保するなどです。

また、農家の高齢化も今後の重要なテーマです。高齢世帯の農家ではJAなどへの出荷が病気などでできなくなると、大きな農家ほど近隣との付き合いが遠のき、地域で孤立する傾向があります。その中で学生が野菜の仕入れを行うことは、農家にとっても人と交流する機会となります。コミュニティづくりや地域福祉の観点からも買い物支援事業は本学科の学生にとって重要な学びとなっています。

case ②

地域の小学校を舞台に理論と実践の往還的な学びを 教育学部1年次実習「学校ボランティア活動」

学校教育学科 准教授 澤柿 教淳

教育学部では、1年次全員が(後期)実習「学校ボランティア活動」を履修します。平成29年度は全15回のうち10回程度を小学校の教育現場で実習しました。事前には、教員に求められる資質や小学校教諭の職務等について大学でしっかりと学修し、事後には児童との関わり方などについて振り返り、教員を目指す自分自身の目標や課題を明確にしました。また、中間時には、研究発表会を行い小学校現場での体験に基づく省察を何度も繰り返しました。

小学校現場で学生が 主に取り組んだ活動

- ・授業の観察
- ・個人への学習指導の補助
- ・清掃活動への参加
- ・教材作成の補助 他

毎週水曜日の午後になると、学生は3~4数名ずつに分かれて松本市内及びその周辺の小学校に向かいます。学校に着くと配属

の学級では児童らが「先生!と笑顔で迎えてくれ、一気に先生の顔に変わります。「学生先生」は、主に左の表の活動に取り組み、実際に体験することで、配属学級の先生の指導技術や具体的な指導の一つ一つには、きめ細やかな配慮や絶妙なタイミングがあるということを知りました。

これら、実践にたずさわっている間に得られる確かな技術は、「教育実践にたずさわる以前に、正しい学問によって整えられる」(ヘルバルトのタクト論他)という側面があります。地域の小学校を舞台として展開するこの1年次「学校ボランティア活動」を理論と実践の往還的な学びの機会とし、2年次の「学校イン



ターンシップ活動」、3年次の「教育実習」へとつなげていきたいと思っています。

教育学部2年生 「学校インターンシップ」いよいよ準備スタート!

教育学部では3・4年次の教育実習に向けた実習型科目を段階的に設けています。1年次後期の「学校ボランティア活動」では学校に慣れることを目的とし、2年次夏期休業中から始まる「学校インターンシップ」では授業補助など教師目線での活動を行います。早くから現場を知ること、教職への意欲を高めてつ理論と実践を繰り返しながら新たな課題を発見します。

case ③

》プロスポーツ選手の栄養サポート体験

健康栄養学科 専任講師 長谷川 尋之

3月3・4日、4月21・22日に、健康栄養学科の3年生3名、4年生3名が、プロバスケットボールチームの信州ブレイブウォリアーズのホームゲーム(松本大会)において選手の試合前後の補食の準備および提供を行いました。計6名の学生たちはスポーツ栄養をテーマに卒業研究に取り組んでおり、彼らにとって様々な競技や異なる年代・レベルの選手のスポーツ現場を知ることがとても重要です。

特にプロスポーツ現場では、理想的な食事



を摂ることはもちろん望ましいのですが、それ以上に選手には結果が要求されます。勝敗という緊迫した現場を体験することは、学生にとって得難い体験になったと思います。一方でプロの試合には興行という側面もあり、必ずしも栄養摂取がしやすい環境ではありません。試合のスケジュールを事前に確認し、より望ましい食環境作りをすることが、プロスポーツ現場における栄養士のミッションとなります。

試合は土曜の夕方と日曜の日中に行われました。この場合、翌日の試合に備えてより早い回復が必要な土曜日と、翌週からのトレーニングに備え翌日のオフ日という回復の時間に余裕がある日曜日、という異なる回復期があります。土曜日には水分の多い喉通りが良い汁物を中心にエネルギー源の補給ができる補食を、日曜日には、麺類など主

キャンパスを飛び出し
地域で学ぶ!

out campus study

アウトキャンパススタディ

食を中心にたんぱく源も摂れるような補食を提案しました。当日は学生が中心となり、大学の調理実習室で準備し、試合時間に合わせて試合会場にケータリングするという一連の食環境整備を行いました。選手と話す機会もあり、試合後に選手の食べたいと感じるもの、食べやすいと感じるものを直に聞くことができたのは、教室で学ぶ数倍の価値があったと思います。

次のシーズンは、選手への補食提供だけでなく、試合会場での食育活動や食環境整備を企画しており、選手だけでなく、プースター(お客様)とも関われるような学修の機会を考えています。



学校法人松商学園 新理事長就任 理事長就任にあたり

学校法人松商学園 理事長 丸山 律夫

6月1日付で「学校法人松商学園」の理事長に就任した丸山律夫です。今年度、創立120周年を迎える「学校法人松商学園」は、永くそして素晴らしい伝統を有しています。松本大学・松本大学松商短期大学部、松商学園高等学校、松本秀峰中等教育学校を擁し、それぞれの学校が強い特徴を有する松商学園グループを創り上げた創立者ならびに先輩の皆様のご尽力に心から敬意を表しますと共に、更なる飛躍を目指して全力投球する所存でございます。皆様方の絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

昨今の日本の学校法人を取り巻く状況は「少子化」の勢いが増し、学生数が年々減

少しています。新聞によりますと日本の18歳人口は現在120万人で、今後10年間で10%減少すると言われています。また、国内の定員割れ私立大学が約4割、100法人の私立大学が経営難と言われています。一方、文部科学省は「5年連続赤字法人」または「教育の質低下法人」には私学助成金を減少させ、「教育に関して優れた取り組みの法人」には増額すると発表しました。

松本大学は地方にある大学として地域と密に連携しながら、地域社会の問題を解決する人材を育成する大学運営が高く評価されています。今後更に地域と力を合わせて松本大学の強さと特長を強化拡大し、社会で活躍できる人材を数多く送り出



していくことを願っています。

松本市の新村地区に定着した松本大学は、松本市や地元新村地区と一緒にあって共存共栄を目指していきます。皆様方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

平成30年度新たに着任された専任教職員のみなさん

◆ 専任教員

坂本竜馬の故郷 土佐からやってきたぜよ



健康科学研究科・健康栄養学科 教授
弘田 量二
【専門分野】 アレルギー／予防医学／
メディカルツーリズム
【略歴】 高知大学教育研究部
医療学系連携医学部門

本年4月より健康栄養学科に着任いたしました。研究はアレルギーの予防や薬膳料理・温泉を組み入れた健康ツアーなどを行ってきました。本学では、食べることで病気が逃げだしてしまう、予防医学が実践できる管理栄養士の育成を行ってまいります。

松本の地で



総合経営学科 専任講師
古川 智史
【専門分野】 経済地理学
【略歴】 東京大学大学院
総合文化研究科学術研究員

「地域」を基点に研究、教育、そして様々な連携に取り組んでいきたいと考えております。松本の地で、どんなことに巡り会うことができるか、楽しみです。多くの方々にお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

オリジナリティに富む 観光まちづくりを目指して



観光ホスピタリティ学科 専任講師
田開 寛太郎
【専門分野】 観光学／
自然共生システム／持続可能システム
【略歴】 東京農工大学環境教育学研究
室日本学術振興会特別研究員

富山県富山市から来ました。観光まちづくりの対象となる素材・資源・事例を、環境教育やESD(持続可能な開発のための教育)の教材として考えていきたいと思っております。最近の関心は、ロングトレイルと歩く学びの旅、文武両道を目指し日々杖術の稽古に励んでいます。

平成30年度の運営体制

■ 学長	住吉 廣行
■ 副学長	等々力賢治
■ 大学院健康科学研究科	
研究科長	山田 一哉
■ 総合経営学部	
学 部 長	増尾 均
総合経営学科長	室谷 心
観光ホスピタリティ学科長	尻無浜博幸
■ 人間健康学部	
学 部 長	等々力賢治
健康栄養学科長	木藤 伸夫
スポーツ健康学科長	根本 賢一
■ 教育学部	
学 部 長	川島 一夫

学校教育学科長	岸田 幸弘
■ 短期大学部	
学 部 長	糸井 重夫
商学科長	山添 昌彦
経営情報学科長	浜崎 央
■ 管理部門	
全学協議会議長	等々力賢治
衛生委員長	柴田 幸一
自己点検・評価委員長	住吉 廣行
IR委員長	住吉 廣行
FD・SD委員長	住吉 廣行
FD・SD推進部会長	川島 均
人権委員長	弘田 量二
健康安全センター運営委員長	江原 孝史
施設管理センター運営委員長	柴田 幸一
危機管理委員長	尻無浜博幸

■ 入試広報部門	
入試・広報委員長	山田 一哉
AO入試運営委員長	坂内 浩三
センター入試委員長	中島 弘毅
■ 研究推進及び管理部門	
研究推進委員長	木藤 伸夫
研究倫理委員長	山田 一哉
■ 文科省選定事業責任者	
地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) 木村 晴壽	
私立大学研究ブランディング事業 等々力賢治	
大学教育再生加速プログラム(AP) 糸井 重夫	
■ 地域連携部門	
地域連携戦略会議議長	木村 晴壽
地域防災対策委員長	尻無浜博幸
地域健康支援ステーション運営委員長	廣田 直子
地域づくり考房「ゆめ」運営委員長	廣瀬 豊

よろしくお願ひいたします!



健康栄養学科 准教授
平田 治美

【専門分野】 公衆栄養学
【略歴】 北里大学保健衛生専門学院
管理栄養科

あるCMでアスリートを背景に「あなたは、あなたの食べたものからできている。」というコトバに印象づけられるように、「食」は人の「可能性を広げ、豊かにすることが出来ます。食を通して社会貢献に繋がる管理栄養士の育成に努めてまいります。

さらに発展する 教職センターを目指して



スポーツ健康学科 教授・教職センター長
山崎 保寿

【専門分野】 教育課程 / 教育行政 / キャリア教育
【略歴】 信州大学教授 / 静岡大学教授

熱意ある教授陣と事務体制のもと、教職課程の綿密な指導が採合格者数の増加に表れてきました。さらに発展する教職センターを目指し、「自主独立」「学殖天下」の気概をもって、教職を目標とする学生諸君とともに松本大学教員養成の歴史を築いていきましょう。

勉強と研究には 素晴らしい環境だ



スポーツ健康学科 准教授
丸山 文男

【専門分野】 物性物理 / 気候変動
【略歴】 公立高等学校 教諭

3月まで縣陵で担任をしていて、クラスの生徒を卒業させて来ました。大教室での授業は大変ですが、若い学生の皆さんと一緒に学ぶことをとても幸せに感じています。少しでも皆さんのお役に立てればと思っています。よろしくお願ひ致します。

Grassroots Internationalization!



学校教育学科 准教授
Sean Mehmet
(マーメット・ジョン・コリン)

【My Research Specialization】
Intercultural Communication.
【My Employment Background】
The School of General Education
at Shinshu University

For one hundred and twenty years, Matsusho Gakuen

School has been actively contributing to the local community in and around Matsumoto city. Following this outstanding example of community engagement and activism, albeit on a far more modest scale, I myself would like to do whatever I can to benefit the staff and students here at Matsumoto University. I am looking forward to engaging in some "grassroots internationalization" with all of you! よろしくお願ひいたします!

着任のご挨拶



学校教育学科 専任講師
藤原 隆史

【専門分野】 認知言語学 / 応用言語学
【略歴】 松商学園高等学校教諭

英語でarrive atとarrive inは何が違うのか。これは、私の専門分野でしばしば聞かれる疑問の一つです。現実世界におけるある状況を、人間がどのように認識し概念化するか。こうした人間の認知能力と言葉の研究を、英語教育へ応用していくのが現在の研究テーマです。

松本大学の ひとつづくりを支えています



学校教育学科 専任講師
大蔵 真由美

【専門分野】 教育学 / 教育史
【略歴】 東海学院大学
短期大学部講師

教育学部と教職課程の授業を担当しています。専門は教育学、教育史です。学校や地域の方々の学びについて研究しています。松本大学の学生は笑顔で挨拶をしてくれたり、学習や日常の様々なことを話してくれたりして非常に温かい雰囲気を感じています。

◆ 専任職員

背伸びをせず成長したい



総務課 主事 赤羽 紀子

南信出身で、中学生の頃から松本に暮らすことが夢でした。その夢がなって20年近くが経ち、いま松本大学にいられることを嬉しく思っています。プチ自慢は健康診断のたびに身長が伸びていること。まだ成長期??人間的にも毎日少しずつ成長できるよう一生懸命頑張ります。

よろしくお願ひします



教務課 主事 小澤 拓也

これまで一般企業2社で販売促進業務を2年間、人事業務を10年間担当して来ました。採用業務で松本大学に向ったことありますが、学生一人一人が型にはまらず活き活きと話してくれた姿が印象に残っています。大学での仕事は初めてとなりますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

- 高大連携推進委員長 山添 昌彦
- 地域総合研究センター運営委員長 木藤 伸夫
- 学生センター部門
- 全学教務委員長 等々力賢治
- 全学教職センター運営委員長 山崎 保寿
- 情報センター運営委員長 浜崎 央
- 図書館運営委員長 伊東 直登
- 国際交流センター運営委員長 矢崎 久
- 学生委員長 濱田 敦志
- 就職委員長 上野 隆幸

- 大学事務局
- 大学事務局長 柴田 幸一
- 総務課長 松尾 淳彦
- 管理課長 赤羽 雄次
- 学生センター長・教務課長 赤羽 研太
- 入試広報室長 坂内 浩三

- 学生課長 白澤 聖樹
- キャリアセンター課長 中村 高士
- 情報センター・図書館課長 田中 雅俊
- 地域づくり考房『ゆめ』課長 臼井 健司

■ 法人事務局

- 理事・法人事務局長・総合企画部長 青島 金吾

新任者

<教員>

- 健康科学研究科 教授 弘田 量二
- 総合経営学科 専任講師 古川 智史
- 観光ホスピタリティ学科 専任講師 田開寛太郎
- 健康栄養学科 准教授 平田 治美
- スポーツ健康学科 教授 山崎 保寿
- スポーツ健康学科 准教授 丸山 文男
- 学校教育学科 准教授 マーメット・ジョン・コリン

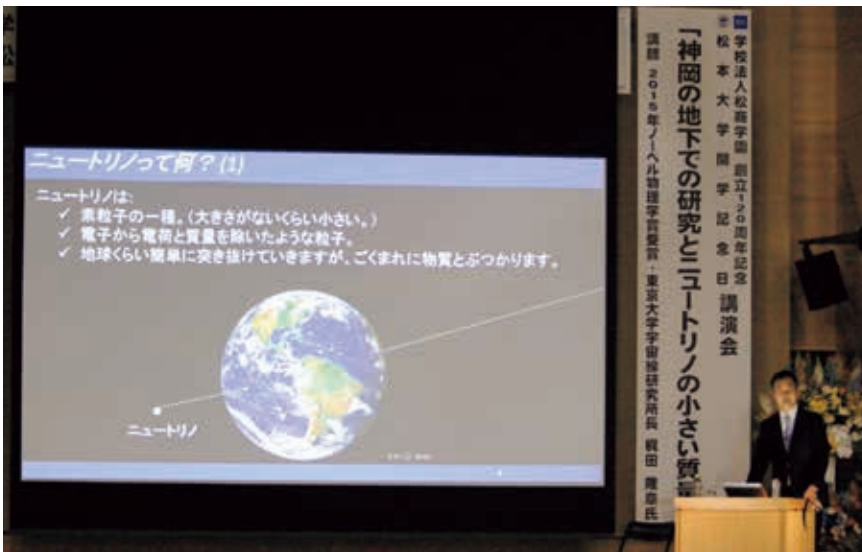
- 学校教育学科 専任講師 藤原 隆史
- 学校教育学科 専任講師 大蔵真由美

<職員>

- 総務課(会計係)主事 赤尾 亜希
- 総務課 主事 赤羽 紀子
- 教務課 主事 小澤 拓也
- 法人事務局 齋 智子
- 総務課 江津 晴香
- 総務課 古林 千春
- 情報センター 西村亜友美
- 教職支援センター 専門員 澤柳 秀子
- 教職支援センター 相良 光男
- 基礎教育センター 専門員 篠島 良一
- 地域づくり考房『ゆめ』 濱 由佳子
- 地域健康支援ステーション 専門員 土井 麻弓
- ブランディング事業推進室 専門員 近藤 壮太
- 陸上競技部 コーチ 村中 智彦

学校法人松商学園創立120周年記念・松本大学開学記念日 ノーベル物理学賞梶田隆章博士講演会開催

松本大学 学長 住吉 廣行



4月27日、本学開学記念日及び学校法人松商学園創立120周年の記念講演会を、2015年にノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章先生を迎え、第2体育館を会場に開催しました。

講演のタイトルは「神岡の地下での研究とニュートリノの小さい質量」と専門的な内容だったので、①本学には理学部はなく、数式を駆使されても理解されないだろうこと、②松本秀峰中等教育学校学生約90名、

一般市民150名弱、ほぼ文系の本学学生約250名、学園関係者70名強という計550名を越える参加者で、聴衆はバラエティーに富み何処に焦点を置くか難しいだろうことも、予め伝えておりました。

鉱山の地下に建設された実験施設に飛び込んで来るニュートリノ(以下ν)は捕捉するだけでも難しいのに、見事に実現しν物理学の幕を開けたとの評価で小柴昌俊先生が2002年にノーベル物理学賞を受賞され

ました。梶田先生達はそれをさらに大型化し、νに質量があるかどうかを探索する研究でした。余談ですが、私が30年程前に米国への入国審査で「物理の国際会議への出席ですか、ところでνには質量があるのかね」と尋ねられ、なぜ素人が?と吃驚したことを思い出します。

講演では、νに質量があればν振動が生じ別種のνに変換するという関係を図で示して下さいだったので、その後のνが質量を持つことの「大発見」を示す有名なグラフの意味は、難しいながらも素人にもおおよそ理解していただけたかと思います。地球の北側(神岡に近い側)から入射したνと、南側から長い距離を延々と走り神岡の装置に到達したνとで、観測されたある種のνの数の違いがあったのですが、νに質量があり振動して別のνに変換したとすれば実に上手く説明できるのです。これが梶田先生によるノーベル物理学賞受賞の決定打になりました。

終了後には会場から市民の方々に加え、秀峰の若い生徒が、堂々と質問してくれました。理解できたからこそインパクトも受け、疑問も浮かんだのでしょう。将来に向けて心強く、頼もしく感じました。

原村と連携協定締結 — 村民の健康づくり推進事業を支援 —

松本大学研究ブランディング事業推進委員会 委員長 等々力 賢治

去る5月22日、松本大学と原村(長野県諏訪郡)の間で、村の健康づくり推進事業に関する連携協定の締結・調印式が行われました。これは村の国民健康保険事業の一環であり、昨年、スポーツ健康学科の田邊ゼミの学生が担当したロコモティブシンドローム(運動器症候群)検査が好評であったことから、今年度についても継続の依頼があったものです。

それを踏まえた担当者の皆さんとの協議の中で、昨年度のようなイベント的なものだけでなく、継続的な健康管理が課題であるとの認識と要望を踏まえて検討した結果、本学として、「タグフィットネス」と称する運動促進プログラムを提案し、了

解いただきました。詳細は省きますが、「タグフィットネス」は、参加者に歩行数や消費カロリーなどを記録できる活動量計を身につけてもらい、それをパソコン上のグループ・コンペサイトに集めることによって可視化するものであり、現在進めている研究ブランディング事業における運動指導の中核にあるものです。それによって、参加者相互間に「励まし合い」や「競争意識」を生じさせ、運動の持続・継続性と効果向上を図ることを狙いとしています。加えて、取り組み期間の最初と最後に参加者の体力データを測定するとともに、適切な時期に運動指



導と栄養指導などを行う予定です。

村としては100人程度の参加者を見込んでいるとのことですので、多くの時間と労力、そして機器類などが必要になりますが、これまでにない本格的な取り組みです。これを農村地域における健康づくりの試金石と位置づけ、担当者の方々とはよく相談しつつ、その成功に向けて力を尽くしたいと思います。



は一気に盛り上がりました。講演ではときどき笑いが起こるなど温かい雰囲気の中で、参加者は実に真剣に聴き入っていました。学校現場が厳しい状況だけに、自分が教師としてやっていけるかどうか心配になる学生も少なくありません。そんな中で、中・高の現場教師として実践されてきた尾木先生の

のひとり「先生として今こうしている尾木ママが、教員に絶対ならないと思っていたなんて驚いた。私も先生に恵まれなかったが、嫌な思いをしたから教員にならないのではなく、嫌な思いをしたからこそ教員になるべきだと感じた」と述べています。その他にも講演後には、多くの感想が寄せられました。その一部をご紹介します。

「生徒思いの本当に教師として素晴らしい方だと思う。自分もそんなふうになりたい。今を輝いていたい」「特に印象に残ったのは『ありのままの自分』です。その考えを自分も持っていたいなと思いました」「尾木先生が最初におっしゃっていた、教育とは一番立場の弱い人に視点を向けるということに、とても共感した」「尾木先生のお話とてもおもしろくてためになるものばかりで、ありがたかったです。時間が足りなくて、もっとお話を聞きたかった、質問をもっとしたかったです」「90分が一瞬で終わったようでした」

今回の講演が、数年後に教育現場へと羽ばたく学生達の心に響いたことをうれしく思います。

5月16日、全国の子どもからお年寄りにまで「尾木ママ」の愛称でよく知られる尾木直樹先生が超多忙なスケジュールを割いて松本大学に來校、講演をしてくださいました。

教室の後ろから尾木先生が姿を見せると、講演を待ち望んでいた学生・地域の方々からは歓声と拍手が湧き起こり、尾木先生がハイタッチしながら入場するうちに、会場

アルで希望の持てる話は、教師をめざす学生が共感するものとなりました。尾木先生は、教師からビンタをされるなど辛く嫌な学校生活を送った過去のために教師にだけはなりたくないと思っていたそうです。しかし母親から「辛い体験をしたからこそ、あなたは子どもの味方になる教師になれる」と言われ、教師の道を進んだといひます。学生

教師のための 相談サポート

教育現場の先生方に特化した 教育に関する相談窓口開設(無料)

教育学部では、学部が保有する教育分野の専門性を、松本市とその近隣の市町村に広く還元するために、学校や教育関連機関の先生方に特化した教育に関する相談窓口(無料)を設けています。

いま学校で起きている諸所の課題について、本学部教員が各分野の専門性にもとづき、その解決のための糸口を一緒に考え、助言させていただきます。

相談の内容によっては守秘義務に十分配慮いたします。また、相談の方法につきましても、先生方の利便性を考慮し柔軟に対応しますので、安心してご利用ください。

相談について

①対象者

- ・小学校、中学校、高等学校の先生
- ・その他の教育機関に所属されている先生

②受理できる相談分野

「学級経営」「生徒指導」「教科教育」「特別支援教育」などに関する相談が可能です。

③お申し込み方法

WEBのお申し込みフォームに必要事項をご記入いただきお申し込みください。

教師のための相談サポート



④相談サポートの流れについて



*お申し込み後、1週間ほどで受理の連絡を差し上げます。

*相談者と相談担当者との間で相談手段や日時を確認し進行します。

お問い合わせ先

教育学部教職支援センター
教師のための相談サポート係
TEL0263-48-7200 (代表)

現役世代を対象とする健康づくりの推進

— それを担う本学独自の「タグフィットネス」と「体力測定車」 —

松本大学研究ブランディング事業推進委員会委員長 等々力 賢治
同 副委員長 根本 賢一

求められる健康経営と従業員の健康づくり

3月14日発行の本誌Vol.130で述べましたように、今、企業による健康経営と従業員の健康づくりが必要かつ求められるようになってきました。体力を高めることが、運動器官の障害や生活習慣病の罹患率を下げる事が明らかになっており、定年後ではなく、企業従業員として働いている現役世代から運動習慣をつけることが健康寿命の延伸を図るには極めて重要なことです。

にもかかわらず残された問題は、それをいかに実行・実施するかです。個々人で運動を行うこと、とりわけ企業に勤めている方々が仕事に無関係と思われがちなのにそれに取り組むことの困難さは、容易に想像がつくのではないのでしょうか。例えば、2016(平成28)年度の「国民健康・栄養調査」(厚生労働省)によれば、30~59歳の働き盛りの現役世代では、運動習慣者の割合が男女ともに3割に満たないとのことでした。

私どもはこれまでも運動指導を各所から依頼され実施してきましたが、企業からは、就業時間中の実施を求める声が沢山寄せられてきました。くわえて、専門の人材や専用の施設・設備を準備可能な大企業はともかく、厳しい経営環境を余儀なくされている中小企業にとってそれがいかに困難なことであるか、これもまた容易に想像がつくでしょう。したがって、現役世代を対象とする健康づくりには、そうした困難を排除し克服する手立てや仕組みが必要なのです。

本学のブランディング事業では、それを踏まえて運動促進プログラムの「タグフィットネス」と各種体力分析装置を搭載した「体力測定車」を準備し、運動指導を中心とする健康づくりに取り組んでいくことを構想しています。以下に、その概要を紹介しましょう。



活動量計とコンペサイトを利用した「タグフィットネス」

まず「タグフィットネス」についてですが、これは、「つなぐ」とか「つなぎ合わせる」といった意味合いのある「タグ」と、「快適に

日常生活を送ることのできる身体的状態」を意味する「フィットネス」をつなぎあわせた、松本大学独自の造語(登録商標)です。資料



にもあるように、そこでは、活動量計によって把握された登録者の一日毎の歩数や消費カロリーなどが、パソコン上に設定されたグループ・コンペサイトに集められ表示されます(資料参照)。それによって、参加者同士が互いの運動(活動)状況を目にする事ができ、競争意識が生まれたり励まし合

いが生ずるといふ、「優れもの」の運動促進プログラムです。

すでに経験している方も多いかと思いますが、運動の欠点は、スポーツと違って競争や技術的な向上などが少なく面白味に欠けるため、長続きせず、したがってその効果も上がりにくいことです。「必要性は重々分かっているがなかなかできない、続かない」というのが実状ではないでしょうか。お分かりのように、「タグフィットネス」は、グループ・コンペサイトで参加者間にコミュニケーションを生じさせ円滑にすることによって、そうした欠点を克服し、運動の持続・継続性を高め、より高い運動効果を得ようというものなのです。

「体力測定車」と「健康運動指導士」による出張型の運動支援

次に「体力測定車」です。いうまでもなく、運動指導の際、それをより効果的に行うには対象者の体力状況を把握しておく必要があります。ところが、既述のように、中小企業がそれに要する人材や施設・設備などを自前で準備することはなかなか難しいのが実状です。そこで私どもは、脚筋力計や呼気ガス分析機

といった、体力分析装置を搭載したバンタイプの「体力測定車」(写真参照)を準備し、対象企業に出張して行って体力測定を行い、データを収集しようと考えたのです。

最初に体力測定を行うことで、メディカルチェックに加えて、安全で



効果的な運動メニューを提供することが可能になります。測定項目としては、筋肉量や脂肪量などの体組成、持久性体力、脚筋力などを予定しています。

このようにして施設・設備を整えたうえで、実施期間の最初と最後に、事業推進委員会

並びに本学の地域健康支援ステーションに所属する、運動指導の専門家である健康運動指導士が当該企業に出向いて体力測定を行います。さらに、それによって得られたデータを基に個別メニューを作成し、適切な時期にアドバイスを行ったり、実際に指導す

るのです。また、指導期間の始めと終わりのデータを比較し成果を“見える化”し、その効果を確認できるようにする予定です。

そうすることで、単独の企業では極めて困難な人的な準備についても、比較的容易になると考えています。

栄養指導とメンタルチェック・ケアも

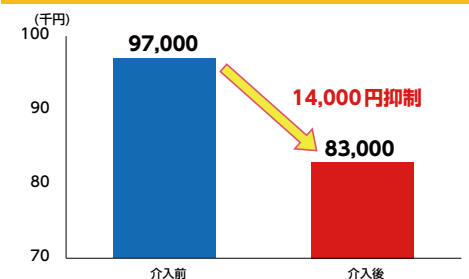
みてきたように、本事業で取り組む健康づくりは、運動指導を中心とするものなのですが、併せて、栄養指導とメンタルチェック・ケアも行います。ご承知のように、栄養指導は健康づくりに必要不可欠なものであり、地域健康支援ステーションに所属する管理栄養士が中心になって取り組みます。その意味では、健康づくりの両輪である運動指導と栄養指導が並行的かつ、関連付けられて行われることになり、両分野の専門人材を養成している松本大学らしい取り組みになるかと思えます。

くわえて、さらに特徴的なのが、メンタルチェック・ケアにつ

いても視野に入れていることです。「タグフィットネス」についてはすでに紹介しましたが、その中で、グループ・コンペサイトに登録された参加者間にはコミュニケーションが生まれることに触れました。実は、それがコミュニケーションの活発化を促して人間関係を

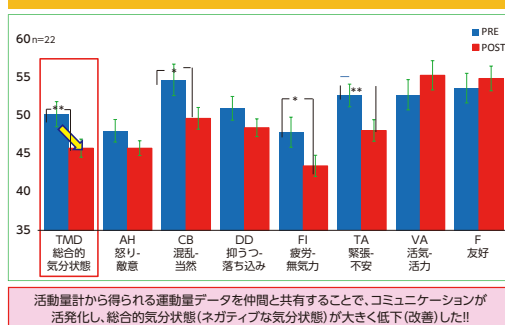
円滑にし、ひいては職場におけるストレスを緩和し組織を活性化することにもつながっていくだろうと予測していますし、私どもが事前に行った調査でも、すでにそれを想起させるような肯定的な結果が出ています(資料参照)。付言すれば、これについては、本学総合経営学部所属の臨床心理士が担当することになっています。

エア・ウォーター(株)社の「からだアセスメントプログラム」による一人当たり医療費の推移(※)



※プログラム参加者のうち、エア・ウォーター健康保険組合に所属する15人についての途中経過

タグフィットネスによる精神的健康度の向上効果



活動量計から得られる運動量データを仲間と共有することで、コミュニケーションが活発化し、総合的気分状態(ネガティブな気分状態)が大きく低下(改善)した!!

6月より本格実施へ

以上が、本事業で取り組む健康づくりの概要です。6月以降の本格実施に向けて、

協力・参加企業も決まりましたので、そこでのどのようなデータや結果が得られるのか楽しみに、そして期待しつつ臨みます。

また、本誌次号では、途中経過になるか

もしれませんが、その実施状況とともに、本学の研究ブランディング事業の全体像についてもお示したいと思います。

松本大学研究ブランディング事業キックオフ・シンポジウム

「企業従業員に対する健康づくりの必要性と具体的な提案 — 労働力不足の中で注目される健康経営と健康支援 — 」

5月24日に松本大学524教室にて、松本大学研究ブランディング事業キックオフ・シンポジウムが開催されました。シンポジウムは、基調講演・特別講演・パネルディスカッションの三部で構成され、会場には企業関係者130名をはじめ、約250名が集まりました。

基調講演では、松本大学副学長・人間健康学部長である等々力賢治教授が「ストレス社会における健康経営と健康づくりの必要性」と題して、現代の日本社会が抱える超少子高齢化、それによる医療費の増大やメンタルヘルスの問題等を踏まえ、従業員の健康づくりを投資としてとらえる「健康経営」が重要であることを指摘しました。また、

特別講演では、株式会社池の平ホテル&リゾート代表取締役社長の矢島義弘氏より健康づくりに取り組んだ経緯やその方法について紹介されました。パネルディスカッションでは、企業経営者、行政、健康づくりを推進する企業・大学と、それぞれの立場から「健康経営」の必要性や課題、具体的な取り組みについて報告がありました。シンポジウム終了後に実施したアンケートでは、健康経営が必要であると9割が回答し、働く世代の従業員へなぜ運動が必要なのか理



解できたなどのコメントも寄せられており、非常に高い関心が窺えました。ブランディング事業推進室を中心に、今後の展開が期待されます。

スポーツ健康学科 専任講師
田邊 愛子

9号館の建設着々と

松本大学9号館の起工式を4月24日に行い、現在、順調に工事が進んでいます。1階は学生が自由に使えるコモンスペース。2階は既存のフォレストホールと連結した学生レストランとして整備。学生のみなさんの食事、休憩、団欒、学修、研究発表といった多目的に利用できる施設です。3階には研究室、多目的室を配置。フォレストホール2階の改修を含めて2019年3月の完成を予定しています。



9号館を中心とする鳥瞰



構内道路からの外観(昼)



構内道路からの外観(夜)

新生活への期待を胸に

卒業生548名の旅立ち ～平成29年度学位授与式～

春の日差しが降り注ぐ3月14日、平成29年度学位授与式が執り行われました。大学院(第6期生)8名、総合経営学部160名、人間健康学部160名、短期大学部220名の計548名が新たな一歩を踏み出しました。修了生、卒業生を代表して松本大学短期大



学部の宮澤玲衣さんが、「4月から始まる新生活においても、大きな期待と共に様々な困難や荒波が待ち構えています。どのような状況においても学生時代に培った知識や教養、そしてこれらの経験から得た心の強さを支えに、松商学園建学の精神である「自主独立」のもと、自らの道を切り拓き、社会の一員として地域に貢献し、自信と誇りを持って力強く一歩一歩、歩んでいきたい」と締めくくりました。

キャンパスに 新たな活力が溢れる ～平成30年度入学式～

例年より早く桜の花が開いた4月5日、平成30年度入学式が執り行われました。大学院4名、総合経営学部182名、人間健康学部194



名、教育学部72名、松商短期大学部218名、編・転入学生5名の計675名が、緊張と不安の中にもこれから始まる新しい生活への期待に胸を膨らませキャンパスに集いました。入学生代表の人間健康学部健康栄養学科の小林菜々夏さんは、一人ひとりを成長させる様々な地域連携活動に積極的に参加して実社会を経験し、コミュニケーション能力や社会人基礎力、課題解決力などを身につけ、社会人になったら即戦力として活躍できる管理栄養士になりたいと、はっきりとした目標を力強く述べました。

(総務課長 松尾 淳彦)

平成29年度学長表彰 ～教職員が表彰されました～

4月27日の開学記念日に、2017年度学長表彰を行いました。表彰者と表彰理由は次のとおりです。

教員「学長賞」

- ▽等々力賢治教授(副学長・人間健康学部長)
文部科学省「平成29年度私立大学研究プランディング事業」の選定と事業の立ち上げに尽力。
- ▽中島節子専任講師(スポーツ健康学科)
平成29年度の教員採用試験において養護教諭職に現役で3名の合格者を出す指導力を発揮。

事務職員「ベストスタッフ・オブ・ザ・イヤー賞」

- ▽西澤 芳浩課長補佐(法人事務局)
正確かつ適正な財務情報を各部門に提供するための基礎データを管理し、財務の舵取りに寄与。
- ▽伊藤 健主任(情報センター)
学内の主要会議をペーパーレス化し、諸会議の準備の時間の短縮と効率化に貢献。

平成29年度の学業成績優秀者を表彰

4月12日、本学において平成29年度学業成績優秀者を表彰しました。総合経営学部、人間健康学部では、進級時に前年度の成績をもとに各学科のGPAトップの学生を表彰し、奨励金として授業料10万円を減免(特待生は除く)しました。表彰者は次の通りです

総合経営学科▽大池 成奈(4年)、牛越 葉月(3年)、横内 文佳(2年) / 観光ホスピタリティ学科▽中野 彬央(4年)、湯川 世夏(3年)、中村 留奈(2年) / 健康栄養学科▽黒岩 明希(4年)、山崎 久樹(3年)、長岡 拓海(2年) / スポーツ健康学科▽齋藤 千春(4年)、塚原 彩香(3年)、富井 万貴(2年) 学校教育学科▽宮澤 和可奈(2年)

松商短期大学部では後期成績優秀者表彰式を行い、トップ10として成績上位10名を表彰し、授業料10万円を減免(特待生を除く)しました。表彰者は次の通りです。

商学科▽関川 美優、成瀬 芽美、牛丸 はるか、清水 春香、中田 亜美、春原 菜奈、降旗 仁 / 経営情報学科▽久保田 麻友、箱山 華花、本山 泉希(いずれも2年)

(教務課長 赤羽 研太)



各種検定試験及び資格取得試験受験状況

本学では下表のとおり、さまざまな技能検定試験や資格取得試験をサポートしています。技能検定試験と資格取得試験には奨励金制度の対象となっている試験もあり、合格に向けての学生のモチベーション向上にもつながっています。

管理栄養士国家試験 92.7%の合格率

今年3月に行われた管理栄養士国家試験は、受験生55名中51名が合格(合格率92.7%)、これまでで最高の合格率となりました。学生の自主性を尊重した学習指導と、模試の成績が伸び悩んでいる学生に対するタイムリーで積極的な面談による指導が、好結果につながったものと思います。また、大学からの支援により模擬試験の受験回数を増やすなど、資格取得を目指す学生を全学でサポートする体制も充実させました。今回合格で

きなかった学生も来年以降チャンスがあるので、あきらめずに挑戦してもらいたと思います。

取得した資格をこれからの人生でどのように生かすかは、卒業生それぞれにゆだねられています。様々な場面に対応できる力や、社会へ巣立った後もそれぞれの職場で自分らしさを発揮できる力をしっかりと身に付けさせる教育を今後も続けていきたいと思ひます。(健康栄養学科長・教授 木藤 伸夫)

区分	実施回数	学部	区分			区分	実施回数	学部	区分			区分	実施回数	学部	区分												
			受験者数	合格者数	合格率%				受験者数	合格者数	合格率%				受験者数	合格者数	合格率%										
日商簿記検定試験																											
1級	年2回	短大部	0	0	0.0%	1級	年4回	短大部	0	0	0.0%	宅地建物取引主任者	年1回	短大部	1	1	100.0%										
		学部	0	0	0.0%			学部	0	0	0.0%			学部	1	1	100.0%										
2級	年3回	短大部	25	8	32.0%	2級	年4回	短大部	0	0	0.0%	総合旅行業務取扱管理者試験	年1回	短大部	1	1	100.0%										
		学部	3	0	0.0%			学部	11	7	63.6%			学部	1	1	100.0%										
3級	年3回	短大部	176	76	43.2%	ビジネス文書検定試験																					
		学部	9	3	33.3%	2級	年2回	短大部	12	2	16.7%	国内旅行業務取扱管理者試験	年1回	短大部	1	0	0.0%										
全経簿記能力検定試験																											
1級総合	年3回	短大部	2	0	0.0%	3級	年2回	短大部	74	69	93.2%	販売士検定試験															
		学部	0	0	0.0%			学部	0	0	0.0%	2級	年1回	短大部	0	0	0.0%										
1級会計	年3回	短大部	24	4	16.7%	サービス接遇検定試験																					
		学部	0	0	0.0%	2級	年2回	短大部	0	0	0.0%	3級	年2回	短大部	23	12	52.2%										
1級簿記	年3回	短大部	15	10	66.7%			学部	2	0	0.0%			短大部	9	7	77.8%										
		学部	0	0	0.0%	秘書検定試験																					
2級商業	年3回	短大部	31	18	58.1%	2級	年3回	短大部	15	4	26.7%	第一種衛生管理者															
		学部	0	0	0.0%			学部	3	1	33.3%	健康運動指導士															
2級簿記	年3回	短大部	32	32	100.0%	3級	年3回	短大部	216	156	72.2%	健康運動実践指導者															
		学部	0	0	0.0%			学部	3	3	100.0%	年1回	短大部	25	21	84.0%											
3級	年3回	短大部	159	141	88.7%	色彩検定試験																					
		学部	0	0	0.0%	3級	年2回	短大部	6	6	100.0%	レクリエーション・インストラクター															
基本情報技術者																											
年2回	短大部	1	1	100.0%	アシスタントプライドコーディネーターABC検定																						
	学部	1	1	100.0%	年1回	短大部	3	2	66.7%	レクリエーション・コーディネーター																	
情報処理技能(表計算)検定試験																											
初段	年4回	短大部	64	36	56.3%	年1回	短大部	0	0	0.0%	自然体験活動(NEAL)指導者																
		学部	0	0	0.0%		学部	0	0	0.0%	年1回	短大部	15	15	100.0%												
1級	年4回	短大部	85	36	42.4%	日本漢字能力検定																					
		学部	54	45	83.3%	2級	年3回	短大部	17	1	5.9%	トレーニング指導者															
2級	年4回	短大部	170	145	85.3%			学部	21	1	4.8%	年1回	短大部	10	7	70.0%											
		学部	328	297	90.5%	準2級	年3回	短大部	9	4	44.4%		フードスペシャリスト														
3級	年4回	短大部	50	49	98.0%			学部	8	5	62.5%	年1回	短大部	57	53	93.0%											
		学部	1	1	100.0%	管理栄養士																					
情報処理技能(データベース)検定試験																											
1級	年4回	短大部	15	11	73.3%	年1回	短大部	1	15	1500.0%	栄養士																
		学部	0	0	0.0%		学部	0	0	0.0%	年1回	短大部	55	51	92.7%												
2級	年4回	短大部	78	70	89.7%	食品衛生管理者・食品衛生監視員(任用資格)																					
		学部	7	7	100.0%	高等学校教諭																					
3級	年4回	短大部	7	7	100.0%	年1回	短大部	36	1	2.8%	一種(公民)	年1回	短大部	4	4	100.0%											
		学部	0	0	0.0%		学部	1	0	0.0%			学部	3	3	100.0%											
文書デザイン検定試験																											
1級	年4回	短大部	34	31	91.2%	年1回	短大部	18	0	0.0%	一種(地理歴史)	年1回	短大部	0	0	0.0%											
		学部	0	0	0.0%		学部	0	0	0.0%			学部	0	0	0.0%											
2級	年4回	短大部	7	7	100.0%	福祉住環境コーディネーター																					
		学部	0	0	0.0%	3級	年2回	短大部	2	2	100.0%	メディカルマネージャー検定試験															
ホームページ作成検定																											
1級	年4回	短大部	36	30	83.3%	年1回	短大部	3	3	100.0%	一種(情報)	年1回	短大部	1	1	100.0%											
		学部	22	20	90.9%		学部	9	9	100.0%			学部	1	1	100.0%											
2級	年4回	短大部	0	0	0.0%	福祉住環境コーディネーター																					
		学部	56	55	98.2%	2級	年1回	短大部	3	3	100.0%	一種(商業)	年1回	短大部	1	1	100.0%										
日本語ワープロ検定試験																											
初段	年4回	短大部	0	0	0.0%	年6回	短大部	6	6	100.0%	一種(保健体育)	年1回	短大部	17	17	100.0%											
		学部	0	0	0.0%		学部	0	0	0.0%			学部	0	0	0.0%											
1級	年4回	短大部	7	3	42.9%	介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー)																					
		学部	2	0	0.0%	2級	年1回	短大部	3	3	100.0%	一種(社会)	年1回	短大部	2	2	100.0%										
準1級	年4回	短大部	33	13	39.4%			介護報酬請求事務技能検定試験																			
		学部	0	0	0.0%	年6回	短大部	6	6	100.0%	一種(保健)	年1回	短大部	17	17	100.0%											
2級	年4回	短大部	64	38	59.4%		医療事務検定試験																				
		学部	18	13	72.2%	年12回	短大部	67	2	3.0%	高等学校教諭																
準2級	年4回	短大部	86	53	61.6%		年12回	短大部	2	2	100.0%	一種	年1回	短大部	2	2	100.0%										
		学部	90	63	70.0%	レセプト点検業務技能検定試験																					
3級	年4回	短大部	59	44	74.6%	年12回	短大部	24	0	0.0%	社会福祉士																
		学部	71	33	46.5%		学部	0	0	0.0%	年1回	短大部	9	4	44.4%												
Microsoft Office Specialist																											
Word	年4回	短大部	43	43	100.0%	ファイナンシャル・プランニング																					
		学部	0	0	0.0%	2級総合	年3回	短大部	1	1	100.0%	学芸員															
Excel	年4回	短大部	0	0	0.0%			学部	2	2	100.0%	一種	年1回	短大部	13	13	100.0%										
		学部	0	0	0.0%	2級学科	年3回	短大部	4	2	50.0%			学部	0	0	0.0%										
Powerpoint	年4回	短大部	7	7	100.0%			年12回	短大部	24	0	0.0%	図書館司書														
		学部	0	0	0.0%	学部	0		0	0.0%	二種	年1回	短大部	22	22	100.0%											
3級総合																											
年3回	短大部	16	16	100.0%	年3回	短大部	4	1	25.0%	証外務員																	
	学部	0	0	0.0%		学部	4	2	50.0%	一種	年1回	短大部	2	2	100.0%												
3級学科																											
年3回	短大部	46	21	45.7%	年3回	短大部	30	16	53.3%	二種	年1回	短大部	2	2	100.0%												
	学部	30	16	53.3%		学部	43	16	37.2%			学部	0	0	0.0%												
3級実技																											
年3回	短大部	43	16	37.2%	年3回	短大部	30	14	46.7%	外部試験について																	
	学部	30	14	46.7%		学部	30	14	46.7%	※外部試験については応募者数・受験者数不明のため「-」とし、自己申請による合格者数のみ記載しています。																	

第6回松本大学 教員研究発表会を終えて

3月5日・6日に、第6回の教員研究発表会を行いました。今年度は平成29年4月に開設した教育学部の教員の参加もあったことから、学内の研究助成金の受給者に加え、大学間連携による共同研究の発表も含め、全部で32演題の発表がありました。内容も多岐にわたり、これまで聞く機会の少なかった分野の研究発表を聞くことができました。この発表会が刺激となり、今後の教員の研究活動が活発化することと、幅広い分野にわたる研究交流の結果、新たな研究シーズが生まれることを期待しています。二日間の参加者の延べ人数は、教員が83名、職員9名、大学院生8名でした。今回は2会場に分けての発表会となりましたが、今後全ての発表を聞くことができるよう、開催方法を検討していきたいと思えます。発表会も6回を迎え、運営方法についていくつかの提案を受けています。今後学内意見を集約し、より多くの教員が参加できる発表会にしていきたいと考えています。 (平成29年度研究推進委員会 委員長 木藤 伸夫)



発表内容一覧

研究課題	発表者
投影法による心理査定理論を用いた児童生徒理解—本学における「教育相談」(教職課程)の授業をもとに—	教育学部 学校教育学科 羽田 行男
学校づくりを中核に据えたまちづくりに関する研究	教育学部 学校教育学科 武者 一弘
論理的文章の書き方指導における評価と添削—事実の記載の仕方に対する添削—	教育学部 学校教育学科 國府田祐子
スピーキング力向上のための指導の在り方	教育学部 学校教育学科 和田 順一
南極観測に関わる映像コンテンツに付加する体験型教材の開発 —「ペンギン型2足歩行模型」の基礎的データの取得とその有効性の検証—	教育学部 学校教育学科 澤柿 教淳
知識の構造化を意識した算数指導について	教育学部 学校教育学科 佐藤茂太郎
初等教員養成における音楽表現力の育成に関する一考察 ～身体リズム活動を中心に～	教育学部 学校教育学科 安藤 江里
賢いからだを育むこれからの体育科教育の在り方	教育学部 学校教育学科 濱田 敦志
第4次産業革命による地域経済パラダイムの変化	総合経営学部 総合経営学科 成 善政
運転資金制約および企業リスクを考慮したサプライチェーン・コーディネーション	総合経営学部 総合経営学科 田中 正敏
インスリンによる血糖調節機構の解析 ～メラトニンとの関係～ (平成29年度大学間連携による共同研究)	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 健康栄養学科 山田 一哉
インスリン作用を模倣する食品成分の検索と作用機構の解明	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 健康栄養学科 高木 勝広
時計遺伝子と長寿遺伝子の発現相関は、糖代謝調節に関わるか?	人間健康学部 健康栄養学科 浅野 公介
知的・発達障がい児の下肢アライメントとバランス能力	教育学部 学校教育学科 小林 敏枝
持久的およびレジスタンストレーニングが一般高齢者とマスターズアスリートの動脈ステイフネスに及ぼす影響	人間健康学部 スポーツ健康学科 山本 薫
微分展開に基づく高次流体方程式の輸送係数の定式化	総合経営学部 総合経営学科 室谷 心
食物アレルギー患者への災害支援としてバッククッキングの可能性	人間健康学部 健康栄養学科 沖嶋 直子
食・観光総合研究所設立のための仕組みづくり	人間健康学部 健康栄養学科 矢内 和博
ライフステージを通じた健康づくりを推進するための調査研究と活動およびネットワークの構築 長野県松川村における中学生とその母親の栄養素等摂取量の類似性 ～性別による相違に着目して～	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 健康栄養学科 廣田 直子
不飽和脂肪酸摂取により短命化するショウジョウバエの原因遺伝子の同定	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 健康栄養学科 木藤 伸夫
食生活簡易自己評価票-3500kcal版-を用いた高校サッカー選手の栄養教育に関する研究	人間健康学部 健康栄養学科 大森 恵美
公立高校野球部における栄養サポートの有無による栄養素等摂取量の違い	人間健康学部 健康栄養学科 石澤美代子
食習慣、運動習慣と健康保持能力の関連について	人間健康学部 健康栄養学科 長谷川尋之
審判員の判定に関する心理学的考察Ⅱ —スポーツ競技の上級審判員を対象としたインタビュー調査—	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 健康栄養学科 齊藤 茂
タイトルIXの実施過程に関する研究 —トランスジェンダー学生の競技スポーツの参加機会に焦点をあてて—	人間健康学部 スポーツ健康学科 新井喜代加
算数嫌い・数学嫌いを偽装する児童生徒の検出とその対策	教育学部 学校教育学科 守 一雄
教職教育の研究価値向上のために	教育学部 学校教育学科 増田 吉史
松本大学における障がい者雇用の推進に向けた予備研究	教育学部 学校教育学科 小島 哲也
主体的・対話的な深い学びは、どうしたら可能になるか	教育学部 学校教育学科 今泉 博
小学校6年生の基本的な権利判断に及ぼす「無知のヴェール」の影響	教育学部 学校教育学科 秋田 真
北欧の「うつ・自傷・拒食・薬物依存・非行」等の発達困難を有する子どもの実態と発達支援に関する調査研究	教育学部 学校教育学科 内藤 千尋
地域における実践的マーケティング活動とその教育効果	松商短期大学部 商学科 金子 能呼

平成30年度 科学研究助成事業に採択されている本学教員の研究

食を伝える新しい異世代間地域ネットワークづくりのための参加型アクションリサーチ
大学院 健康科学研究科 廣田 直子 教授 ○期間:平成27年度～平成30年度

運動効果獲得の個人差を理解するための骨格筋エピジェネティクス研究
大学院 健康科学研究科 河野 史倫 准教授 ○期間:平成28年度～平成31年度

地域社会での看取りはかかして可能か—イタリアをフィールドとして
大学院 健康科学研究科 福島 智子 准教授 ○期間:平成28年度～平成30年度

インスリン誘導性転写因子の作用機序と食餌と病態による遺伝子発現制御
大学院 健康科学研究科 山田 一哉 教授 ○期間:平成29年度～平成31年度

発達障害等の発達困難を有する非行少年の現状と地域生活移行支援に関する調査研究
教育学部 学校教育学科 内藤 千尋 専任講師 ○期間:平成29年度～平成31年度

宇宙滞在の影響を受けにくい体質をつくる運動のための加速度センシング機構応用
大学院 健康科学研究科 河野 史倫 准教授 ○期間:平成30年度～平成31年度(初年度)

海外進出中小企業の「出口戦略」—海外での新事業展開の可能性
総合経営学部 総合経営学科 兼村 哲也 教授 ○期間:平成30年度～平成32年度(初年度)

加熱調理中の音響モニタリングによる食品の品質評価に関する研究
人間健康学部 健康栄養学科 石原 三妃 准教授 ○期間:平成30年度～平成32年度(初年度)

主権者教育によって児童の女性観はどう変化するか?潜在意識測定による地域ごとの検証
教育学部 学校教育学科 秋田 真 准教授 ○期間:平成30年度～平成32年度(初年度)

審判員のためのストレス対処モデルの構築
大学院 健康科学研究科 齊藤 茂 准教授 ○期間:平成30年度～平成32年度(初年度)

教育現場における教職員と学生とのWin-Win関係

月日が経つのは早いもので、人生50年を超え、教員生活もはや20年を優に超えました。若いときはひたすら研究だけに没頭し、アウトプット(論文作成)に力を注いできました。時間が過ぎるとともに家族や親戚が増え、研究に時間が取れない状況となり、最近少し寂しい気がします。しかしこの間、私自身大きな病気もせず、家族や親戚に支えられながらここまで来られたことに感謝する日々です。

私の専門は「数理計画問題における最適化の基礎および応用」です。最近では、契約を考慮したサプライチェーンの設計および評価を研究しています。サプライチェーンは原材料、中間製品、最終製品が送られる企業とその企業間をつなげるネットワークですが、このとき、サプライチェーン内には相競争する目的を持った企業が存在しています。例えば、小売店は需要の変動のリスクを避けるため小口の補充を望みますが、メーカーは大ロットで安定した操業を望みます。その結果、サプライチェーンにおいて様々な問題が発生します。このとき、各企業がどのような意思決定をすればつながっているすべての企業が良くなるか、という設計が私の研究であります。換言すれば、サプライチェーンにおいては、サプライチェーンにつながっているすべての企業が、全体の目的に協力するようなインセンティブ(誘因)の設計を提供することで企業間の協調関係を維持しながら、最適な行動を行うことが要求されます。そしてその結果、すべての企業がWin-Winの関係になります。

今後、社会はますます少子化が進み、18歳人口が減少する中で大学運営を行わなければなりません。このようなときにこそ、大学が生き残っ



ていくためには、大学として、学生にいかにも良いサービス(研究、教育、就職や卒業生とのつながり)を提供できるかが非常に重要になってきます。一方学生の方でも、自らの意思決定で就職や進学を行い、将来を見据えて行動していかなければなりません。これからは、すべての主体(大学、学生、地域)がみんなで協力して共にWin-Winの関係になるような社会を築き上げることが要求されるのではないのでしょうか。

大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。鳥取大学、産業技術総合研究所等を経て2006年から現職、博士(経営学)、博士(工学)
【専門分野】最適化理論の基礎及び応用
【研究課題】サプライチェーンマネジメント、在庫管理等

▶総合経営学科田中正敏教授、学会論文賞受賞

2017年9月7日から9日にかけてバンコクにて開催された日本生産管理学会の国際会議において、本学の田中正敏教授が発表論文賞を受賞しました。

本論文は、在庫管理モデルのシミュレーション実験を行い、プレイップ効果と呼ばれる現象の原因を明らかにしたものです。今後の更なる発展が期待されます。

M. Hasama and M. Tanaka: "A Management Approach of Production and Inventory Control on Vertical Supply Chain", Proceedings of The 3rd International Conference on Production Management 2017 in Bangkok, Sept. 7-9, 2017, pp.89-92.

(総合経営学科長・教授 室谷 心)



Scratch Day 2018 in 信州

総合経営学科 学科長・教授 室谷 心

5月14日、「Scratch Day 2018 in 信州」が本学で開催されました。Scratch(スクラッチ)はMITが開発した教育用プログラミングシステムです。Scratch DayはこのScratchの誕生をみんなでお祝いするために集う世界レベルのイベントで、毎年5月に世界各地で開催されています。長野県では今回が初の開催でした。(http://day.scratch.mit.edu)

午前の部では、教育学部の和田順一准教授による「Scratchを使った英語学習教材」の紹介などScratchに関わる様々な内容についてトークリレーが繰り広げられ、午後の部では、ワークショップ「Micro:bitであそぼう!」(ICT情報工房塚本先生)が開講されました。

また会場には、短期大学の矢野口ゼミを初め、出店形式でたくさんブースが並びました。Scratchはもちろん、Raspberry PiやVISCUIT、IchigoJamといった、今話題のさまざまなプログラミング関連グッズが一堂に会している様子は圧巻でした。



松本大学大学院健康科学研究科 公開講座 「長野松代総合病院における ダイエット診療について」

健康科学研究科 教授 江原 孝史

4月21日に長野松代総合病院ダイエット科の前川智先生に本学で講演していただきました。現在、日本では、国民の4人に1人が肥満状態といわれています。しかし、欧米と比べ日本でダイエット診療を行っている病院は少なく、昨年、長野松代総合病院にダイエット科が開設されました。この科では、肥満症の人を対象に1週間入院して栄養科、リハビリテーション科、診療内科と連携しながら糖質制限食を毎食とってもらい、講義やテストを受け、運動や30回咀嚼、体重日記等の行動療法も実践しながらダイエットをするプログラムを行っています。入院で多くの方が2~7キロ減量するそうです。退院後もダイエットを継続してもらい、減量により、検査データが改善し薬が必要でなくなる方もいるそうです。食事療法で減量できない人には内視鏡的胃内バルーン留置術という胃内にバルーンを入れて食事量を抑える治療も行っており、この方



法も日本では数が少ない治療法になります。ダイエットについて改めて考えさせられるいい機会となりました。

卒業生の進路

好景気や売り手市場を背景に、企業の採用意欲は旺盛な一方で厳選採用の動きもある中、学生の積極的な活動により極めて高い就職実績に結び付きました。また、公務員試験合格者が多かったことも特徴のひとつでした。今後も学部学科とキャリアセンター、さらに企業とも連携し、充実した就職支援を行っていきます。各学部の卒業生の進路状況についてまとめます。

総合経営学部

就活生の状況に合わせた よりきめ細かな支援の成果

超売り手市場という雇用市場の状況に浮かれず、しっかり就職活動を行った結果、本学部卒業生の就職内定率は98.0%(総合経営学科98.8%、観光ホスピタリティ学科97.2%)で、昨年に引き続き、きわめて良い結果となりました。これはキャリアセンタースタッフと学部教員総員のコラボレーションで、就活生一人ひとりに対する状況に応じた、よりきめ細かな支援の結果であると考えています。また、活力ある地域社会の創造に貢献しうる人材を育成するという本学部の教育研究の目的に基づき、地域の皆様のニーズに応えるかたちで、さまざまな職種に就職することができました。

(平成29年度就職委員会 総合経営学部主任 成 善政)

人間健康学部

学部内に 就職活動の文化が定着しつつある

本学部の就職内定率は99.3%となり、平成29年度も高い数字を維持することができました。当年度の特徴として、健康栄養学科では、従来どおりの専門職種(栄養士・管理栄養士)に加えて、歯科管理栄養士の募集・採用が増加しました。また、スポーツ健康学科では、専門職種(運動指導・医療福祉分野、及び教員等)に加えて、金融業界への採用が顕著に増加するなど、多様な進路選択が実現されてきています。これらは、開学部以来の先輩たちの経験から就職活動のノウハウ等が蓄積されつつあり、在学生の就職活動に対する高い意識が定着してきている成果でもあると感じています。

(平成29年度就職委員会 人間健康学部主任 齊藤 茂)

松商短期大学部

雇用環境の良さを反映 幅広い業界に就職

松商短期大学部では、平成29年度卒業生の就職内定率が98.6%となり、昨年度の100%に引き続いて、非常に高い数値で学生を社会に送り出すことができました。学生の努力はもちろんですが、バブル期並みの地域企業の旺盛な採用意欲に加え、キャリアセンターやゼミナール教員による手厚い個別指導をさらに充実させたことがこのような好結果に繋がったと考えています。今後も、保護者をはじめ地域企業と連携を深めながら、学生支援により一層力を注ぐとともに、卒業生の活躍に期待しています。

(平成29年度就職委員会 短期大学部主任 木下 貴博)

大学院 健康科学研究科

就職、研究継続それぞれの道へ

健康科学研究科を今春8名の院生が修了しました。その内7名が就職(TIS長野株式会社、株式会社サンリ、ゴールドパック株式会社、公益財団法人日本スケート連盟、久留米大学分子生命化学研究所[リサーチフェロー]、城西大学薬学部医療栄養学科[助手]、富山健康科学専門学校[教員])し、1名は松本大学大学院で研究生として研究を継続することになりました。彼らの今後の活躍に大いに期待しています。

(平成29年度大学院就職委員 根本 賢一)

総合経営学部

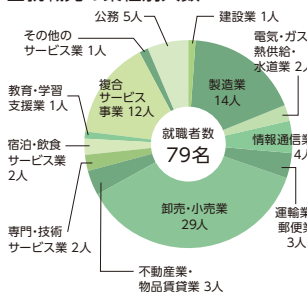
進路別	計
就職	148
進学	0
進路未決定	3
家・居・その他	9
合計	160

▼総合経営学科就職先一覧

産業分類	企業名	計
建設	㈱マナテック	1
	㈱デイリーはやしや	1
	㈱レナウン	1
	㈱コヤマ	1
	桜総業㈱	1
	㈱デザイン	1
	東洋計器㈱	2
	㈱ハーモニック・ドライブ・システムズ	1
	㈱南信精機製作所	1
	日本電産サンキョー㈱	1
製造	本多通信工業㈱	1
	安曇野本多通信工業㈱	1
	上田日本無線㈱	1
	日本電熱㈱	1
	同谷酸素㈱	1
	サンリン㈱	1
	ウィンパード㈱	1
	キッセイコムテック㈱	1
	㈱サイビス	1
	TIS長野㈱	1
電気・ガス・熱供給・水道	同谷酸素㈱	1
	サンリン㈱	1
	ウィンパード㈱	1
情報通信	キッセイコムテック㈱	1
	㈱サイビス	1
	TIS長野㈱	1
運輸・郵便	丸茂自動車㈱	1
	丸茂自動車㈱	1
	丸茂自動車㈱	1
卸売・小売	㈱エム・イー	1
	㈱サイザン	1
	鈴与タイ㈱	1
	炭平コーポレーション㈱	1
	高山理化学工業㈱	1
	㈱タック	1
	㈱ボルトトレード	1
	㈱マツザワ	1
	㈱マルニシ	1
	㈱ミカサ	1
㈱メディセオ	1	
金融・保険	㈱本太	1
	アイ・ディー・エックス㈱	1
	アイオンリール㈱	1
	㈱いちやま	1
	MXモバイル㈱	1
	㈱スズキ自販南信	1
	生活協同組合コープながの	3
	㈱ツルヤ	1
	㈱デリシア	1
	トヨタカラー南信㈱	1
不動産・物品賃貸	㈱メガネのナガタ	1
	マックスバリュ長野㈱	1
	㈱モリキ	2
	㈱モリキ	2
	ヤンマー・アジア㈱	1
	㈱縮半ホームエイド	1
	積和不動産中部㈱	1
	㈱トラスト・インベストメント	1
	㈱アクアティオ	1
	小林会計事務所	1
複合サービス事業	㈱ベストマッチ	1
	㈱RYコーポレーション	1
	㈱池の平ホテル&リゾート	1
	信州諏訪農業協同組合	1
	日本郵便㈱	2
	松本ハイランド農業協同組合	9
	日本連合警備㈱	1
	安曇野市役所	1
	天龍村役場	1
	長野県警察	2
初級ケア	松本市役所(嘱託)	1
	松本市役所(嘱託)	1
	松本市役所(嘱託)	1
計		79

総合経営学科

■就職先の業種別人数



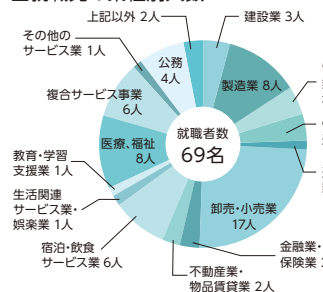
就職内定率
98.0%
(就職内定者148人/就職希望者151人)

▼観光ホスピタリティ学科就職先一覧

産業分類	企業名	計	
建設	㈱エース・リフォーム	1	
	創成工業㈱	1	
	日本ビルコン㈱	1	
製造	伊那食品工業㈱	1	
	ホクト㈱	1	
	長野森紙業㈱	1	
	太陽工業㈱	1	
	㈱ユニオンプレート	1	
	㈱栄光製作所	1	
	三協精密㈱	1	
	吉田工業㈱	1	
	同谷酸素㈱	2	
	㈱サイザン	1	
情報通信	㈱アグバックス・インフォメーション・デザイン	1	
	㈱プロフェッサ	1	
	東京コンピュータサービス㈱	1	
運輸・郵便	東日本旅客鉄道㈱	1	
	㈱エラン	1	
	㈱小泉	1	
	㈱国興	1	
	㈱シンケン	1	
	㈱タック	1	
	中日本メディアリンク㈱	1	
	中野商事㈱	1	
	錦林㈱	1	
	北陸コカ・コーポロリング㈱	1	
卸売・小売	㈱ヨコハマタイヤジャパン	1	
	リコー・ジャパン㈱	1	
	H&Mジャパン(契約)	1	
	スバル信州㈱	1	
	㈱ソルヤ	2	
	長野日産自動車㈱	1	
	㈱縮半ホームエイド	1	
	東郷証券㈱	1	
	あいおいニッセイ同和損害保険㈱	1	
	不動産・物品賃貸	スターツコーポレーション㈱	1
㈱アクアティオ		1	
㈱クア・アンド・ホテル		1	
宿泊・飲食サービス	㈱五千尺	1	
	㈱サンティア RAKO 華乃井ホテル	1	
	春蘭の宿さかえや	1	
	㈱明神館	1	
	ルートイングループ	1	
	㈱ビーエス観光	1	
	観音寺温泉	1	
	飯田女子高等学校	1	
	医療・福祉	社会医療法人南信勤労者医療協会諏訪共立病院	1
		社会医療法人中信勤労者医療協会	1
児童養護施設円福児童育園		1	
社会福祉法人サン・ビジョン		2	
社会福祉法人高遠さくら福祉会		1	
特定非営利活動法人ローカルコミュニティ		1	
特定非営利活動法人ワークスコープ松本事業所		1	
複合サービス事業		あづみ農業協同組合	1
		中野市農業協同組合	1
		日本郵便㈱	3
初級ケア	松本ハイランド農業協同組合	1	
	㈱エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ日本	1	
	越谷市役所	1	
公務	長野県警察	1	
	新潟県警察	1	
	松本市役所(嘱託)	1	
上記以外	松本市立博物館(嘱託)	1	
	松本市立博物館(嘱託)	1	
	松本市地域づくりインテーン	2	
計		69	

観光ホスピタリティ学科

■就職先の業種別人数





話と和と輪、想像と創造の空間 地域づくり考房『ゆめ』



地域づくり考房『ゆめ』は、学生が大学での学びを活かして地域と連携し、地域の課題解決に向けて主体的に取り組む活動を支援しています。

地域づくり考房『ゆめ』 新年度を迎えて

地域づくり考房『ゆめ』は平成17年度に地域と学生をつなぐ学内組織として始まり、今年で13年目を迎えます。学生たちは、それぞれの目的のもとプロジェクトチームを組んでおり、現在は10プロジェクト、延べ187名の学生が活動を行っています。

ここ数年は、プロジェクトの活動内容に応じて活動地域が広がっている中、新村地区とは地区内での各種行事や新村公民館での活動参加を通して、関わりがより深まっ

てきています。

プロジェクトとして活動を進めていく中で、学生には様々な課題を抱えている様子も見られますが、お互いの活動や経験を共有しあいながら、課題を乗り越えていく力を徐々に身に付けます。また、救急応急対応研修や、他大学との交流も兼ねた合宿なども学びの機会として設けています。



昼休みは活動の打合せで賑わいます

楽しみながら学び合う場として、今年度も考房『ゆめ』には学生の熱気があふれています。
(地域づくり考房『ゆめ』 課長 臼井 健司)

地域づくり考房『ゆめ』 平成29年度活動報告会

3月6日に平成29年度の学生プロジェクト活動報告会を開催しました。

第1部として、今年度のテーマ「プロジェクトリーダーとしての求められる役割とは何か」について、LODEC Japan合同会社 辰巳和生氏、長谷川雄一氏を講師にお迎えしての、リーダー研修会を行いました。さらに全体研修では、プロジェクトの次年度年間活動のテーマをプロジェクトメンバーが活動を



リーダー研修の様子

振り返り課題を出し合い優先順位やそれぞれの役割は何なのか意見交換を行いました。

第2部として、10プロジェクトの活動報告会では、新村の連合町会長を始め、地域づくりセンター長、環境政策課の職員も参加されるなか、それぞれの発表者が一年間のプロジェクト活動で学んだこと、工夫したこと、感動したことを熱く伝え、30年度の活動が楽しみになる有意義で充実した活動報告会になりました。

(地域づくり考房『ゆめ』 職員 山岸 勝子)

地域フォーラム「ごじょってく」



興味関心や特技などを共有するグループワーク

2月24日、平成29年度地域フォーラムを開催しました。テーマは「ごじょってく」。地域活動へ参加したい学生と参加

してもらいたい地域団体が、相互に支援しあう“互助”の関係を作っていきたいという思いが込められています。『ゆめ』で活動する学生と、シェアハウス等の拠点事業に取り組みたいLODEC Japan合同会社の

ご協力を得て、企画運営を行いました。

当日は、地域活動に興味がある学生および地域の方29名にご参加いただきました。パネルディスカッションやグループワーク、地域活動に取り組む団体の活動紹介を経て、参加者が一緒に活動したいと思った団体と投票形式で連絡先を交換してもらいました。

現在、このフォーラムをきっかけに、それぞれの地域活動への参加や交流が始まっています。また、企画へ参加しポスター作成を行った学生に、松本市からイベントポスターの作成依頼が来るといった動きもありました。今後の活動の広がりも楽しみです。

(地域づくり考房『ゆめ』 職員 上川 由香里)

地域の健康づくりを支援する 地域健康支援ステーション



地域健康支援ステーションでは、地域からの依頼を受けて健康づくりの支援やメニュー提案など実践的な活動を行っています。最近の活動をご紹介します。

運動面での健康づくり支援活動 健康運動指導士スタッフ 土井 麻弓

新任の健康運動指導士が活動を始めました。

今年度から着任させていただき、健康運動指導士の土井麻弓です。



昨年度までスポーツ健康学科の学生として、この松本大学にお世話になりました。4年間で学んだことを活かし、松本大学に恩返しができるよう奮闘してまいります！



話題になったカーリングをゲームで実施

テーマで、おへそをへこませて、腹筋を使いながら身体を捻るなどの運動を行いました。参加者の皆さんからは、「視野が明るくなった気がする」「顔をこんなに動かしたことは無かった」「肩甲骨の運動をしてから、背中がすっきりしている」などの感想をいただきました。今後も、参加者が楽しみながら続けられる内容で実施していきます。

たんぼぼ

朝日村の障がい者施設から依頼を受けて、4月18日に座ってできるレクリエーションを行いました。二人1組で息を合わせて行うネットパスリレーでは、「ボールを落とさずにパスを最後の人までつなごう」と目標を

立てると、参加者の笑い声や掛け声が大きくなっていき、成功を目指して協力し合う姿を見ることが出来ました。

朝日村

朝日村社会福祉協議会から依頼があり、5月16日に、ロコモ度測定を行いました。昨年度も同じ内容でロコモ度測定を行ったので、参加者の皆さんは、昨年よりいい結果を出そうと張り切って臨んでいました。測定が終わったあとの残った時間に、お家で取り組んでいただける簡単トレーニングを紹介しました。参加者の皆さんからは、「次の測定に向けて頑張ろう」「記録が落ちないようにトレーニングに取り組んでみたい」といった感想をいただきました。



運動後のリラックスストレッチを実施

床尾の活動

塩尻市床尾公民館から依頼があり、前年度に引き続き地域住民の方々に介護予防の運動指導を行うことになりました。4月10日の初回講座では、あまり意識して動かしたことが無い眼球の体操や、顔の筋肉を動かす体操をしました。4月26日は、「肩甲骨を動かして肩周りの血のめぐりを良くしよう」というテーマで、上半身の運動を主として行いました。5月8日は、「お腹の鎧を鍛えよう」という

自立訓練施設での健康づくり支援 健康運動指導士スタッフ 土井 麻弓 管理栄養士スタッフ 飯澤 裕美



菓子等に含まれる糖質の量クイズに挑戦

自立訓練施設あかしゃからの依頼で、利用者の方が自分自身の健康づくりに取り組むための支援を、年間を通して請け負うことになりました。健康運動指導士スタッフと管理栄養士スタッフが運動と栄養の両面からのアプローチで、支援をしていきます。

4月23日は運動面からの支援で、チーム対抗のゲームを4種類実施しました。訪問して指導するのは月1回ですが、できるだけ毎日継続するような仕組みとして模造紙に個人の名前を記載した「はげみ表」を作成しました。自分で決めた運動目標を実施した者はシールを貼っていき、頑張った分シールの枚数が増えていくので、それを励みに運動を続けられるよう工夫しました。

5月17日には栄養面から、砂糖の摂りすぎをテーマに、飲み物や菓子に含まれる糖質の量クイズや、砂糖水の飲み比べクイズなどの体験をとっておやつ選び方について一緒に考えてもらいました。

「暑い時期には炭酸飲料のペットボトル3本を一気に飲めるよ」「アーモンドチョコは一箱なんて一度に食べちゃうよ」と自慢げに話をしていたメンバーでしたが、糖質の量を砂糖の量で置き換えたものを実際に手にすると皆さん様に驚いていました。また砂糖水の飲み比べでは、冷たくして酸味を加えると甘味を感じなくなることも実感し、「飲みやすいからと3本も一気に飲んだらとんでもないよね」など、自分たちで気付いていきます。これからの季節、炭酸飲料やアイスなどを選ぶ時の参考になればと思います。次回のテーマについては、油の量の話を知りたいとのリクエストをいただきました。

皆さまのお近くで、学生や専門スタッフ(管理栄養士・健康運動指導士)が
お手伝いできることがありましたら、是非お声をかけてください。

決算報告

平成29年度、松本大学では、前年度に文部科学省より設置認可を受けた教育学部学校教育学科が1期生65名を迎え入れてスタートいたしました。この設置認可にあたっては、4学年分の学生を受け入れるための施設設備を整え、4学年にわたる教育課程を担当する教員を採用しているため、開設初年度となる本年度は、1学年分の収入に対して4学年分の支出が生じる面があり支出超過となっています。

ますが、4年目には収支のバランスがとれるよう計画的に進めています。

既存の学部と短期大学部では、本年度も定員を上回る多くの学生を迎え、また、競争的補助金の獲得などにより収入を確保し、適切な収支バランスのもとに運営できたと思量しています。

また、教育学部の開設に伴い、今後さらに学生数の増加が見込まれるため、近隣に学生駐車場用地を取得し整備を行うとともに、新たな学生食堂をメインとする9号館の建設を決定し、設計を終え、着工

学校法人 松商学園

財産目録 平成30年3月31日 (単位 円)

1. 資産 総額	14,774,904,275
(1) 基本 財産	11,395,632,362
(2) 運用 財産	3,379,271,913
2. 負債 総額	1,226,511,161
(1) 固定 負債	301,577,870
(2) 流動 負債	924,933,291
3. 正味 財産	13,548,393,114

摘要	金額 (単位 円)
資産の部	
基本財産	11,395,632,362
土地	422,770㎡ 2,538,164,134
松本市南3-6-1 校用地	44,130㎡ 251,690,330
松本市新村2095-1 校用地	65,405㎡ 1,738,574,944
松本市球場2-1-1 校用地	11,134㎡ 525,156,268
松本市筑摩2丁目2952-3 宅地	202㎡ 839,536
松本市筑摩2丁目2952-10 宅地	969㎡ 4,020,676
松本市筑摩4丁目2438 原野	442㎡ 7,848,217
松本市青白湖2143 山林	6,641㎡ 964,163
松本市湯田温泉 山林	183,662㎡ 4,070,000
東筑摩郡筑北村乱川原961 原野	110,184㎡ 5,000,000
建物	62,846㎡ 7,264,161,714
学校法人	473,700 2
松本大学	24,765,500 4,325,215,615
松本大学松商短期大学部	7,021,34㎡ 414,375,765
松商学園高等学校	21,816,12㎡ 2,523,269,457
松本秀峰中等教育学校	8,769,60㎡ 1,001,300,875
構築物	171坪 473,962,007
図書	535,946,841 520,898,174
教育研究用機器備品	36,919,319 36,919,319
管理用機器備品	3,693,173 21,887,000
車輦	3,693,173
建設仮勘定	21,887,000
運用財産	3,379,271,913
現金預金	2,424,162,425
修学旅行費預り資産	30,530,500
第2号基本金引当特定資産	314,349,930
第3号基本金引当特定資産	168,152,896
退職給付引当特定資産	150,000,000
施設拡充引当特定資産	4,281,541
奨学金引当特定資産	7,891,600
松本大学教育学部教育研究引当特定預金	86,845,341
有価証券	6,488,630
未収入金	116,982,499
電話加入権	1,395,572
ソフトウェア	47,024,979
出資金	200,000
基金拠出金	3,000,000
差入数金保証金	17,966,000
資産 総額	14,774,904,275

摘要	金額 (単位 円)
負債の部	
固定負債	301,577,870
退職給付引当金	301,577,870
流動負債	924,933,291
未払金	225,478,634
前受金	647,942,300
預り金	20,981,857
修学旅行費預り金	30,530,500
負債 総額	1,226,511,161
正味 財産 (資産 総額 - 負債 総額)	13,548,393,114

貸借対照表 平成30年3月31日

科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部			
固定資産	12,203,228,851	12,364,545,875	△ 161,317,024
有形固定資産	11,395,632,362	11,669,430,148	△ 273,797,786
土地	2,538,164,134	2,481,164,134	57,000,000
建物	7,264,161,714	7,552,722,710	△ 288,560,996
構築物	473,962,007	442,757,203	31,204,804
教育研究用機器備品	520,898,174	624,714,584	△ 103,816,410
管理用機器備品	36,919,319	35,695,843	1,223,476
図書	535,946,841	532,067,029	3,879,812
車輦	3,693,173	308,645	3,384,528
建設仮勘定	21,887,000	0	21,887,000
特定資産	731,521,308	616,252,476	115,268,832
第2号基本金引当特定資産	314,349,930	0	314,349,930
第3号基本金引当特定資産	168,152,896	167,992,896	160,000
退職給付引当特定資産	150,000,000	150,000,000	0
施設拡充引当特定資産	4,281,541	0	4,281,541
松本大学教育学部教育研究引当特定預金	86,845,341	298,259,580	△ 211,414,239
その他の固定資産	76,075,181	78,863,251	△ 2,788,070
電話加入権	1,395,572	1,395,572	0
ソフトウェア	47,024,979	50,579,049	△ 3,554,070
有価証券	6,488,630	6,488,630	0
出資金	200,000	200,000	0
基金拠出金	3,000,000	3,000,000	0
差入数金保証金	17,966,000	17,200,000	766,000
流動資産	2,571,675,424	2,444,266,065	127,409,359
現金預金	2,424,162,425	2,291,750,534	132,411,891
未収入金	116,982,499	152,515,531	△ 35,533,032
資産の部合計	14,774,904,275	14,808,811,940	△ 33,907,665

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部			
固定負債	301,577,870	246,605,327	54,972,543
退職給付引当金	301,577,870	246,605,327	54,972,543
流動負債	924,933,291	852,013,129	72,920,162
短期借入金	0	0	0
未払金	225,478,634	187,430,442	38,048,192
前受金	647,942,300	606,620,200	41,322,100
預り金	20,981,857	57,962,487	△ 36,980,630
負債の部合計	1,226,511,161	1,098,618,456	127,892,705

科 目	本年度末	前年度末	増 減
純資産の部			
基本金	19,552,300,354	19,082,629,954	469,670,400
第1号基本金	18,767,797,528	18,612,637,058	155,160,470
第2号基本金	314,349,930	0	314,349,930
第3号基本金	168,152,896	167,992,896	160,000
第4号基本金	302,000,000	302,000,000	0
繰越収支差額	△ 6,003,907,240	△ 5,372,436,470	△ 631,470,770
翌年度繰越収支差額	△ 6,003,907,240	△ 5,372,436,470	△ 631,470,770
純資産の部合計	13,548,393,114	13,710,193,484	△ 161,800,370

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債及び純資産の部合計	14,774,904,275	14,808,811,940	△ 33,907,665

資金収支計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

科 目	予 算	決 算	差 異
収入の部			
収入の部合計	7,109,886,000	7,202,437,974	△ 92,551,974

科 目	予 算	決 算	差 異
支出の部			
支出の部合計	7,109,886,000	7,202,437,974	△ 92,551,974

事業活動収支計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
事業活動収入の部合計	4,585,155,000	4,606,322,720	△ 21,167,720
事業活動支出の部			
事業活動支出の部合計	5,011,397,000	4,768,698,111	△ 242,698,889
教育活動収支差額	△ 426,242,000	△ 162,375,391	△ 263,866,609

科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動外収入の部			
教育活動外収入の部合計	1,860,000	2,277,781	△ 417,781
教育活動外支出の部			
教育活動外支出の部合計	0	0	0
教育活動外収支差額	1,860,000	2,277,781	△ 417,781

科 目	予 算	決 算	差 異
経常収支差額	△ 424,382,000	△ 160,097,610	△ 264,284,390

小説家碧野圭さんによる公開講座を開催

5月26日、小説家の碧野圭さんをお招きして、松本大学図書館公開講座を開催しました。「辞めない理由」「銀盤のトレス」など、数々の作品で知られる碧野圭さん。図書館が主催し、作家の生の声や、裏話を直接お聞きする機会を設けることは、活字離れが話題となる昨今において意義のあるものと考えています。

加えて、碧野さんは、「書店ガール」シリーズを手がけておられます。書店や出版業界の低迷が続く今の社会において、本について私たちはどう考えていけばいいのか、そんなテーマも合わせて一緒に考える機会となれば、という思いもありました。



当日は、本学の学生のほか、学外からの皆様も合わせて90名が聴講されました。一緒に来校された編集者も加わり、普通では聞くことのできない作家と編集者の駆け引きめいたお話もご披露いただきました。終了後も30分余にわたってさまざまな質問が会場から出され、有意義で楽しいひとときとなりました。

(松本大学図書館長 伊東直登)

日本語検定実施の成果について

昨年度、国語の基礎力の伸張や資格取得の一つとして、松本大学として初めて日本語検定を受検しました。

昨年6月の第1回検定は、実施計画作成に時間がかかり申込締め切りに間に合わなかったため、過去問中心の問題を手作りし、模擬試験という形で実施しました。教育学部では、卒業までに全員の3級合格を目標とし学生の意識の向上を期待して、ガイダンスの実施やお試し問題の配付、教職支援センター発行のお便りでの啓発等の工夫を行いました。また、テキストや問題集を生協で扱っていただけるように交渉し実現しました。

以上のような経緯を経て、11月の

検定では、教育学部1年生の80%が受検し、準3級の3名を含め全員が3級に合格するという快挙を成し遂げました。このことが主催者の東京書籍から認められ、団体卒で「優秀賞」受賞につながりました。今後も学生の学力向上を目指して、積極的に取り組んで参りたいと思います。

(教職支援センター 専門員 高山 雪)



学生が中学校で情報社会の出張講義



3月12日、松本市立清水中学校で松本警察署のスマホキャラバンによる特別授業が行われ、観光ホスピタリティ学科4年生(当時)新井諒君が講師として参加しました。

このスマホキャラバンのプロジェクトは、松本警察署が松本大学と松商学園高等学校と協力して結成したもので、インターネット時代の安全なネット

利用法を中学生に伝えることが目的とされています。授業ではまず、松商学園高校ビジネス情報技術(BIT)部が便利なスマートフォンには危険性も伴うことを注意喚起し、安全な利用を心がけようと呼びかけました。続いて観光ホスピタリティ学科4年の新井君は、「危ない!?スマートフォン」というタイトルで、スマホ依存症とデジタルタトゥー(一度ネットに書き込まれた情報が消滅しないで残ってしまう現象)を素材としてとりあげました。松本大学の学生の学びを地域の中学生に伝える今回のような活動は、今後とも継続していきたいと思っています。

(観光ホスピタリティ学科 准教授 眞次 宏典)

充実と特色の教員免許状更新講習

松本大学では、教員免許状更新講習が4年目を迎え、さらなる充実と特色化を図っています。文部科学省の改正を踏まえ、必修領域(6時間)と選択必修領域(6時間)に加え、選択領域(18時間)を加えた構成になっています。受講者の方々の希望やニーズを踏まえ、教職のリニューアル

ルにつながる有意義な講習になるよう、教育の新しい知識や技術を身につけるための内容、困難な教育課題に対応する方法を学ぶ内容、ユニークで役に立つ内容など多彩なメニューをそろえています。

熱意ある教授陣と事務体制のもと、担当教員一丸となって、受講者が「参加して良かった」、「指導力の向上に結びついた」と思えるような講習を目指しています。

なお、受講料は国立大学が行う更新講習と同等、駐車場の完備など受講者の便にも配慮しています。詳しくは、本学HPをご覧ください。

(教職センター長 山崎 保寿)



平成30年度松本大学後援会総会 開催

去る5月26日、平成30年度松本大学後援会総会が開催されました。110名の保護者の皆様に参加いただき、5つの議案について審議し、異議なくご承認いただきました。

第1号議案 平成29年度後援会会務報告
第2号議案 平成29年度後援会費決算
第3号議案 平成30年度後援会会務予定
第4号議案 平成30年度後援会費予算
第5号議案 平成30年度役員選出

議事終了後、大学院、松本大学、松商短期大学の各学部長及び事務局長より学部の新況や大学の運営状況などについて報告がなされました。



総会終了後、等々力賢治副学長による「ストレス社会における健康経営と健康づくりの必要性」と題した講演会が開催され、140名ほどの皆様に熱心に耳を傾けていただきました。最後に3号館ラウンジにて日ごろ学生達が食べている学食ランチを体験していただき盛会のうちに終了いたしました。大勢の皆様のご参加ありがとうございました。

平成30年度松本大学同窓会総会 開催

5月19日、松本市深志のアルピコプラザホテルにて、平成30年度松本大学同窓会総会が開催されました。会では松本大学・松商短期大学の同窓生およそ50名が参加し、昨年度の事業報告、決算報告、監査報告と今年度の事業計画・予算案が

総会に引き続き催された懇親会では、ご来賓、大学教職員、学年代表幹事と一般会員120名ほどが集まり、久々に顔を合わせた同窓生との話に花が咲き、和やかな雰囲気のうち無事終了しました。

提示され、承認を得ることができました。また、学園と同様に3年に一度の任期満了による役員改選が行われ、選考委員会から提示された役員選考案が承認され、正副会長、監事が選任されました。



本学では他にも、次のような出来事がありました。

- 「第13回生協総代会」が5月22日に開催されました。理事・監事・総代員合わせて約20名が出席し、①前年度の事業報告および決算関係の承認、②今年度の事業計画お

よび予算決定、③今年度の生協役員選出の確認が無事になされました。

- 5月23日に「動物慰霊祭」を執り行い、教員、学生、大学院生が授業や研究活動で行う実験で犠牲になった動物に対して、慰霊と哀悼の意を捧げました。

女子ソフトボール部

チームの総合力で連覇達成!インカレへ!! ~13年連続13回目の優勝~

5月26日・27日に石川県小松市スカイパークこまつ翼を会場に、第24回北信越大学ソフトボール選手権大会(兼)第53回全日本大学選手権大会(以下インカレ)予選会が開催されました。昨年のインカレベスト8メンバーのほとんどが卒業したことで戦力ダウンが心配されま

したが、危なげなく勝ち進み金沢学院大学との決勝戦に臨みました。

試合は4回に3点を先制される苦しい展開でしたが、チームは慌てることなく5回に5安打を集中し4点を挙げ逆転。しかし6回に同点とされ、最終回にもピンチを迎えたものの落ち着いたプレーでここを無失点で切り抜け、迎えた最後の攻撃、4番小山の劇的な一打でサヨナラ勝ちを収めました。粘り強く総合力で闘うチームに相応しい試

合で連覇を達成することができました。また、多くの方々の応援も大きな力となりました。次はインカレ、感謝を胸に戦って参ります。

(女子ソフトボール部部长 岩間 英明)



ラート競技部

躍進続くラート競技部 ~世界大会にて及川輝選手銅メダル獲得~

5月7日から12日までの7日間、スイスのチューリッヒで開催された「ラート競技世界選手権大会2018」日本選手団に、及川輝君(ス

場となりました。初出場及川君の成績は、総合第8位(3種目)、種目別跳躍では堂々の3位、また日本チームのメンバーとしてドイツ、スイスに続く団体第

3位の成績に貢献しました。帰国後、銅メダル2つを胸に大会の報告をする姿からは、来季挑戦に向けた意気込みが感じられました。

入部時には全員が初心者でスタートするラート部員の競技歴は様々です。ラートは競技としての魅力の他、集団で演技するパフォーマンスは観る人を魅了するスポーツとして、県内各種イベントへの出演依頼が舞い込んでいます。学生等のますますの活躍に期待したいと思います。

(ラート競技部 顧問 犬飼 己紀子)

たなければ数字も意味をなさないことを心に刻み、今後は勝負所の一球、ワンプレーの強さを求めて秋季リーグ戦に向けて練習に取り組んでいきます。沢山の応援、誠にありがとうございました。

(硬式野球部 監督 清野 友二)

順位	大学名	平国大	常盤大	松本大	新潟大	埼玉大	茨城大
1	平国大	○6-2 ○5-0	○5-3 ○4-2	○8-1 ○9-0	○10-0 ○10-0	○16-0 ○10-1	
2	常盤大	●2-6 ●2-1	○3-0 ○7-6	○7-2 ○7-2	○1-0 ○7-2	○10-5 ○13-2	
3	松本大	●2-5 ●2-4	●0-3 ●6-7	○10-2 ○11-2	○4-3 ○17-2	○7-0 ○7-3	
4	新潟大	●1-8 ●0-9	○2-7 ○2-3	●2-10 ●2-11	○4-3 ○8-7	○16-4 ○11-1	
5	埼玉大	○0-10 ○0-10	○0-1 ○2-7	○3-4 ○2-17	●2-4 ●7-8	●9-7 ●15-3	
6	茨城大	○0-16 ○1-13	○5-10 ○2-13	○0-7 ○3-7	●4-16 ●1-11	○7-9 ○9-7 ●3-15	

硬式野球部

硬式野球部春季リーグ戦結果

関甲新学生野球連盟2部春季リーグ戦が終了し、6勝4敗(勝ち点3)、第3位となりました。昨秋から新チームになり、一冬を越え臨んだリーグ戦でしたが、優勝には届かず悔しい結果となりました。昨秋まで1試合平均得点3.8点、平均失点3.6点であったチーム力が今春は1試合平均得点6.7点、平均失点3.1点と攻撃力、守備力共に成長を実感したシーズンとなりました。しかし、勝負である以上、勝

男子サッカー部

長野県サッカー選手権 決勝で0-2の惜敗

5月13日、男子サッカー部は天皇杯への出場権をかけ、2年ぶり3度目の長野県サッカー選手権の決勝戦に臨みました。対戦相手は、一昨年と同様J3のAC長野パルセイロでした。選手たちはプロ選手を相手に最後までよく走り、自分たちのスタイルで積極的に攻撃を仕掛けましたが、何度か訪れた決定機を決めることができず、今回も悲願の天皇杯出場を果たすことはできませんでした。

今後はこの敗戦を糧に、初の総理大臣杯及び2年連続のインカレ出場を目指し、誠実に日々の努力を重ねて参ります。引き続き、温かいご声援をお願いいたします。

(男子サッカー部 監督 齊藤 茂)



速報

6月24日、第42回総理大臣杯北信越大会で準優勝。8月の総理大臣杯全国大会に初出場決定!

陸上競技部

小林航君 初制覇(男子400mハードル)日本インカレ出場へ ~第92回北信越学生陸上競技対校選手権大会行われる~

第92回北信越学生陸上競技対校選手権大会が5月19日・20日の両日、新潟市陸上

競技場で行われ、男子400mハードルで小林航君(スポーツ健康学科4年:松本蟻ヶ崎高卒)が52秒89で見事優勝し、9月に神奈川県川崎市で行われる「第87回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)」への初出場が決まりました。

レースは前半から積極的に飛ばし、華麗なハードリングで最後まで力強く走りきり、2位に1秒近い大差の圧勝でした。小林君は、「と

にかく嬉しい。地道に努力してきた本当に良かった。支えてくれたたくさんの方に感謝したい」と、語ってくれました。

学校対抗でも史上最高の男子5位、女子3位

総合得点を競う学校対抗においても、男子が58.5点を獲得し5位、女子が69点を獲得し3位と、こちらも史上最高の成績を収め、チーム力を存分に発揮しました。

なお、小林君は6月15日~17日まで神奈川県平塚市で行われた「2018日本学生陸上競技個人選手権」大会に、400mハードルの標準記録を突破して出場し、準決勝進出を果たしました。(陸上競技部 顧問 白澤 聖樹)



2019年度 入試日程

■ 総合経営学部／総合経営学科・観光ホスピタリティ学科 (定員:総合経営学科90名、観光ホスピタリティ学科80名、編入学 各学科5名)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		総合経営	観光ホスピタリティ					
推薦	推薦前期(指定校/公募)	40	35	松本大学	2018年 10月 29日(月) ~ 11月 5日(月)	11月 11日(日)	11月 19日(月)	12月 6日(木)
	推薦後期	5	5	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
	自己推薦	若干名	若干名	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
AO	AO	8	8	松本大学・東京名古屋・新潟甲府・那覇	2018年 9月 20日(木) ~ 9月 28日(金) 10月 6日(土) 10月 15日(月) ~ 10月 19日(金)	11月 3日(土)	11月 19日(月)	12月 6日(木)
一般	一般A	20	17	松本大学・東京名古屋・新潟甲府・那覇	2019年 1月 7日(月) ~ 1月 25日(金)	2月 2日(土)	2月 12日(火)	2月 20日(水)
	一般B	3	3	松本大学	2019年 2月 4日(月) ~ 2月 15日(金)	2月 22日(金)	2月 26日(火)	3月 7日(木)
	一般C	2	2	松本大学	2019年 2月 25日(月) ~ 3月 8日(金)	3月 13日(水)	3月 18日(月)	3月 25日(月)
センター利用	センター利用Ⅰ期	8	6		2019年 1月 7日(月) ~ 2月 1日(金)		2月 12日(火)	2月 20日(水)
	センター利用Ⅱ期	2	2		2019年 2月 4日(月) ~ 2月 20日(水)		2月 26日(火)	3月 7日(木)
	センター利用Ⅲ期	2	2		2019年 2月 25日(月) ~ 3月 11日(月)		3月 18日(月)	3月 25日(月)
その他	外国人留学生前期	若干名	若干名	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
	外国人留学生後期	若干名	若干名	松本大学	2019年 2月 4日(月) ~ 2月 15日(金)	2月 22日(金)	2月 26日(火)	3月 7日(木)
	帰国生徒	若干名	若干名	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
	社会人	若干名	若干名	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
編・転入	編入学/転入学Ⅰ期	3/若干名	3/若干名	松本大学	2018年 8月 27日(月) ~ 9月 7日(金)	9月 14日(金)	9月 20日(木)	10月 5日(金)
	編入学/転入学Ⅱ期	2/若干名	2/若干名	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)

■ 人間健康学部／健康栄養学科・スポーツ健康学科 (定員:健康栄養学科70名、スポーツ健康学科100名、編入学 各学科5名)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		健康栄養	スポーツ健康					
推薦	推薦前期(指定校/公募)	28	30	松本大学	2018年 10月 29日(月) ~ 11月 5日(月)	11月 11日(日)	11月 19日(月)	12月 6日(木)
	推薦後期	3	5	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
	スポーツ健康学科指定校特別推薦Ⅰ期		15	松本大学	2018年 10月 29日(月) ~ 11月 5日(月)	11月 11日(日)	11月 19日(月)	12月 6日(木)
	スポーツ健康学科指定校特別推薦Ⅱ期		若干名	松本大学	2019年 2月 4日(月) ~ 2月 15日(金)	2月 22日(金)	2月 26日(火)	3月 7日(木)
AO	健康栄養学科 AO	5		松本大学・東京名古屋・新潟甲府・那覇	2018年 9月 20日(木) ~ 9月 28日(金) 10月 6日(土) 10月 15日(月) ~ 10月 19日(金)	11月 3日(土)	11月 19日(月)	12月 6日(木)
	スポーツ健康学科 AOⅠ期(一般選抜方式)		10	松本大学	2018年 8月 1日(水) ~ 8月 19日(日) 8月 24日(金) 9月 3日(月) ~ 9月 7日(金)		9月 14日(金)	9月 20日(木)
	スポーツ健康学科 AOⅠ期(運動選抜方式)			松本大学	2018年 9月 20日(木) ~ 9月 28日(金) 10月 6日(土) 10月 15日(月) ~ 10月 19日(金)		11月 3日(土)	11月 19日(月)
	スポーツ健康学科 AOⅡ期(一般選抜方式)		4	松本大学	2018年 9月 20日(木) ~ 9月 28日(金) 10月 6日(土) 10月 15日(月) ~ 10月 19日(金)		11月 3日(土)	11月 19日(月)
一般	一般A	18	17	松本大学・東京名古屋・新潟甲府・那覇	2019年 1月 7日(月) ~ 1月 25日(金)	2月 2日(土)	2月 12日(火)	2月 20日(水)
	一般B	3	3	松本大学	2019年 2月 4日(月) ~ 2月 15日(金)	2月 22日(金)	2月 26日(火)	3月 7日(木)
	一般C	若干名	2	松本大学	2019年 2月 25日(月) ~ 3月 8日(金)	3月 13日(水)	3月 18日(月)	3月 25日(月)
センター利用	センター利用Ⅰ期	10	10		2019年 1月 7日(月) ~ 2月 1日(金)		2月 12日(火)	2月 20日(水)
	センター利用Ⅱ期	3	2		2019年 2月 4日(月) ~ 2月 20日(水)		2月 26日(火)	3月 7日(木)
	センター利用Ⅲ期	若干名	2		2019年 2月 25日(月) ~ 3月 11日(月)		3月 18日(月)	3月 25日(月)
その他	健康栄養学科 社会人AO	若干名		松本大学	2018年 9月 20日(木) ~ 9月 28日(金) 10月 6日(土) 10月 15日(月) ~ 10月 19日(金)	11月 3日(土)	11月 19日(月)	12月 6日(木)
	スポーツ健康学科 社会人AOⅠ期		若干名	松本大学	2018年 8月 1日(水) ~ 8月 19日(日) 8月 24日(金) 9月 3日(月) ~ 9月 7日(金)	9月 14日(金)	9月 20日(木)	10月 5日(金)
	スポーツ健康学科 社会人AOⅡ期		若干名	松本大学	2018年 9月 20日(木) ~ 9月 28日(金) 10月 6日(土) 10月 15日(月) ~ 10月 19日(金)	11月 3日(土)	11月 19日(月)	12月 6日(木)
	外国人留学生	若干名	若干名	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
	帰国生徒	若干名	若干名	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
	編入学Ⅰ期	3	3	松本大学	2018年 8月 27日(月) ~ 9月 7日(金)	9月 14日(金)	9月 20日(木)	10月 5日(金)
編入学Ⅱ期	2	2	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)	

■ 教育学部／学校教育科 (定員:80名)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		総合経営	観光ホスピタリティ					
推薦	推薦前期(指定校/公募)	24		松本大学	2018年 10月 29日(月) ~ 11月 5日(月)	11月 11日(日)	11月 19日(月)	12月 6日(木)
	推薦後期	3		松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
AO	AO	5		松本大学	2018年 9月 20日(木) ~ 9月 28日(金) 10月 6日(土) 10月 15日(月) ~ 10月 19日(金)	11月 3日(土)	11月 19日(月)	12月 6日(木)
一般	スカラシップ	7		松本大学・東京名古屋・新潟甲府・那覇	2019年 1月 7日(月) ~ 1月 25日(金)	2月 2日(土)	2月 12日(火)	2月 20日(水)
	一般A	20		松本大学	2019年 1月 7日(月) ~ 1月 25日(金)	2月 2日(土)	2月 12日(火)	2月 20日(水)
	一般B	2		松本大学	2019年 2月 4日(月) ~ 2月 15日(金)	2月 22日(金)	2月 26日(火)	3月 7日(木)
センター利用	センター利用スカラシップ	3			2019年 1月 7日(月) ~ 2月 1日(金)		2月 12日(火)	2月 20日(水)
	センター利用Ⅰ期	10			2019年 1月 7日(月) ~ 2月 1日(金)		2月 12日(火)	2月 20日(水)
	センター利用Ⅱ期	2			2019年 2月 4日(月) ~ 2月 20日(水)		2月 26日(火)	3月 7日(木)
	センター利用Ⅲ期	2			2019年 2月 25日(月) ~ 3月 11日(月)		3月 18日(月)	3月 25日(月)
その他	社会人AO	若干名		松本大学	2018年 9月 20日(木) ~ 9月 28日(金) 10月 6日(土) 10月 15日(月) ~ 10月 19日(金)	11月 3日(土)	11月 19日(月)	12月 6日(木)
	外国人留学生	若干名		松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
	帰国生徒	若干名		松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 8日(土)	12月 18日(火)	1月 7日(月)

全入試において「WEB出願」を実施します。
詳しくは松本大学入試情報サイトでご確認ください。
▶ www.matsumoto-u.ac.jp/admissions

■ 松商短期大学部／商学科・経営情報学科 (定員:各学科100名)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		商	経営情報					
推薦	特待生推薦(公募)	若干名	若干名	松本大学	2018年 10月 22日(月) ~ 10月 29日(月)	11月 3日(土)	11月 7日(水)	12月 6日(木)
	推薦前期(指定校/公募)	60	60	松本大学	2018年 11月 1日(木) ~ 11月 9日(金)	11月 17日(土)	11月 22日(木)	12月 6日(木)
	推薦後期(公募)	5	5	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 9日(日)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
	自己推薦	5	5	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 9日(日)	12月 18日(火)	1月 7日(月)
AO	AOⅠ期	5	5	エントリー	2018年 8月 1日(水) ~ 8月 19日(日)	9月 14日(金)	9月 20日(木)	10月 5日(金)
	面談			8月 27日(月) ~ 8月 30日(木)				
	出願			9月 3日(月) ~ 9月 7日(金)				
	AOⅡ期	5	5	エントリー	2018年 9月 20日(木) ~ 9月 28日(金)	11月 3日(土)	11月 7日(水)	12月 6日(木)
	面談			10月 9日(火) ~ 10月 11日(木)				
	出願			10月 15日(月) ~ 10月 19日(金)				
AOⅢ期	若干名	若干名	出願	2019年 2月 13日(水) ~ 2月 25日(月)	3月 1日(金)	3月 5日(火)	3月 14日(木)	
AOⅣ期			出願	2019年 3月 4日(月) ~ 3月 14日(木)				
一般	一般A	6	6	松本大学・東京名古屋・新潟甲府・那覇	2019年 1月 7日(月) ~ 1月 25日(金)	2月 2日(土)	2月 12日(火)	2月 27日(水)
	一般B	2	2	松本大学	2019年 2月 13日(水) ~ 2月 25日(月)	3月 1日(金)	3月 5日(火)	3月 14日(木)
	一般C	2	2	松本大学	2019年 3月 4日(月) ~ 3月 14日(木)	3月 18日(月)	3月 22日(金)	3月 27日(水)
センター利用	センター利用Ⅰ期	6	6		2019年 1月 7日(月) ~ 2月 1日(金)		2月 12日(火)	2月 27日(水)
	センター利用Ⅱ期	2	2		2019年 2月 13日(水) ~ 2月 27日(水)		3月 5日(火)	3月 14日(木)
	センター利用Ⅲ期	2	2		2019年 3月 4日(月) ~ 3月 14日(木)		3月 22日(金)	3月 27日(水)
その他	社会人AOⅠ期	若干名	若干名	エントリー	2018年 8月 1日(水) ~ 8月 19日(日)	9月 14日(金)	9月 20日(木)	10月 5日(金)
	面談			8月 27日(月) ~ 8月 30日(木)				
	出願			9月 3日(月) ~ 9月 7日(金)				
	社会人AOⅡ期	若干名	若干名	エントリー	2018年 9月 20日(木) ~ 9月 28日(金)	11月 3日(土)	11月 7日(水)	12月 6日(木)
	面談			10月 9日(火) ~ 10月 11日(木)				
	出願			10月 15日(月) ~ 10月 19日(金)				
社会人AOⅢ期	若干名	若干名	出願	2019年 2月 13日(水) ~ 2月 25日(月)	3月 1日(金)	3月 5日(火)	3月 14日(木)	
社会人AOⅣ期	若干名	若干名	出願	2019年 3月 4日(月) ~ 3月 14日(木)	3月 18日(月)	3月 22日(金)	3月 27日(水)	
外国人留学生前期	若干名	若干名	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 9日(日)	12月 18日(火)	1月 7日(月)	
外国人留学生後期	若干名	若干名	松本大学	2019年 2月 4日(月) ~ 2月 15日(金)	2月 22日(金)	2月 26日(火)	3月 7日(木)	
帰国生徒	若干名	若干名	松本大学	2018年 11月 26日(月) ~ 12月 3日(月)	12月 9日(日)	12月 18日(火)	1月 7日(月)	

■ 松本大学大学院／健康科学研究科健康科学専攻 (一般学生・学内推薦学生・社会人共通)

大学院	試験区分	募集人員	会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
後期	3	松本大学	2019年 1月 7日(月) ~ 1月 25日(金)	2月 3日(日)	2月 12日(火)	2月 20日(水)	

2018年度入学試験の状況

■ 松本大学大学院 [修士課程]

研究科	専攻	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
健康科学	健康科学	6	4	4	4	100.0%	4	4	66.7%
	合計	6	4	4	4	100.0%	4	4	66.7%

※留学生を除く

■ 松本大学 1年次入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	90	370	354	126	281.0%	91	91	101.1%
	観光ホスピタリティ	80	342	326	109	299.1%	87	87	108.8%
	小計	170	712	680	235	289.4%	178	178	104.7%
人間健康	健康栄養	70	171	168	141	119.1%	82	82	117.1%
	スポーツ健康	100	210	205	143	143.4%	109	109	109.0%
	小計	170	381	373	284	131.3%	191	191	112.4%
教育学部	学校教育学科	80	189	185	135	137.0%	72	72	90.0%
	小計	80	189	185	135	137.0%	72	72	90.0%
合計		420	1,282	1,238	654	189.3%	441	441	105.0%

※留学生を除く

■ 松本大学 編入・転入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	5	2	2	2	100.0%	2	2	40.0%
	観光ホスピタリティ	5							
	小計	10	2	2	2	100.0%	2	2	20.0%
人間健康	健康栄養	5	7	7	3	233.3%	2	2	40.0%
	スポーツ健康	5	1	1	1	100.0%	1	1	20.0%
	小計	10	8	8	4	200.0%	3	3	30.0%
合計		20	10	10	6	166.7%	5	5	25.0%

※留学生を除く

■ 松本大学松商短期大学部

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
短期大学部	商	100	132	130	122	106.6%	112	112	112.0%
	経営情報	100	139	136	128	106.3%	106	106	106.0%
	合計	200	271	266	250	106.4%	218	218	109.0%

※留学生を除く

2018年度は長野県立大学開学、諏訪東京理科大学公立化があり、受験生の動きが読めない中、本学では県内高校生の受け皿を増やすべく、総合経営学科10名、スポーツ健康学科20名の定員増を、県立大学と管理栄養士養成課程が競合する健康栄養学科では10名の定員減を行いました。結果的に大学・短期大学全体としては定員を満たすことができました。昨年度から続く受験生の「文高理低」トレンドの中で、総合経営学部では競争率が非常に高くなり、合格者数に対する入学者数の見極めも非常に難しい状況でした。人間健康学部も同様の傾向でしたが、これは全国の大学が文部科学省から厳密な入学定員管理を指導されたためです。教育学部は2年連続で定員割れを起こしましたが、定員割れ人数には改善が見られています。

2年後に迫る新大学入試制度の導入を念頭に、次年度入試では入試日程や入試内容の変更を行い、県内の意欲あふれる人材に入学してもらえるよう準備を進めています。

(2017年度入試委員長 山田 一哉)

バレーボールが運ぶ縁

健康栄養学科 教授 木藤 伸夫

回転の止まったボールがふわりとライトへ上がった。相手チームのエースアタッカーが渾身の力を込めてボールを打つ。とどくか... 飛び込みながら思い切り伸ばした右手にボールが当たり、セッターに戻っていった。相手チームのエースアタッカーにはさんざん点をとられていたが、この時は会心のレシーブだった。今から48年前の事だがしっかりと記憶に残っている。新潟市の秋季中学生バレーボール大会決勝戦の一シーンだ。この試合、幸い勝利することができ優勝した。優勝した瞬間には一つ年上のチームメイトと初めて躊躇なく抱き合って喜ぶことができた。下級生で試合に出場していたのは、私

だけだったのだ。相手チームのセッターは、その後進学した高校でバレー部に誘ってくれたが、私はネットの高さに腰が引け、以来バレーボールとは縁のない生活を送ってきた。松本大学に赴任し、4年前から男子バレーボール部の監督を勤めさせてもらっている。この間日本体育協会のバレーボール指導員の資格を取り、練習は学生任せだが試合には出かけるという部活動を行ってきた。そんな中、スポーツ健康学科の犬飼先生から信越大学バレーボール連盟の理事を引き継いだ。初めて出席した理事会の席上、新しく理事長に就任された方の話を聞いている時に、ふと50年近く前の記憶がよみが

えてきた。そう、新任の理事長は決勝で戦った相手チームのセッターだったのだ。思わぬ邂逅に鳥肌が立ち、文頭にあげたシーンがよみがえった。

松本大学に赴任した5年前、最初に担当した数学や化学の授業で熱心に取り組む1年生のグループが目についた。その後バレーボール部の顧問となった時に、そのグループ全員が男子バレー部であることが分かり、思わぬ縁に驚いた。彼らは今年卒業していったが、彼らと参加した大会では楽しい試合ができた。今年5月北信越大学バレーボール選手権大会が新潟市で開催され、高校の同級生が応援に来てくれた。十数年ぶりの再会である。スポーツを行う事の良さはいろいろあると思うが、「バレーボールは様々な縁を私に運んで来てくれるな」と、今少し感傷的になりつつ感じているのである。

Information

2018オープンキャンパス

【途中参加・途中退出可】

高校生はもちろん、保護者や教員の方もぜひご参加ください。

●松本大学・松商短大

【日時】7/22(日) 8/5(日) 8/19(日) 9/22(土)
10:30~15:30(受付10:00~)

【内容】松本大学・松商短大概要説明、学科説明、ミニ講義、トレーニングルーム体験、ランチ無料体験、キャンパス見学ツアー、個別相談(入試・授業・資格・就職・学生なんでも相談) etc.

無料シャトルバス運行 ※松本駅以外要予約

長野県内<松本駅、長野駅、上田駅、佐久平駅、岡谷駅、下諏訪駅、茅野駅、伊那(上伊那農業高校前)、飯田駅>・山梨県<甲府駅、小淵沢駅>、新潟県<新潟駅、高田駅>

詳しくはホームページでご確認いただくか、入試広報室までお問い合わせください。

www.matsumoto-u.ac.jp ☎0120-507-200

平成30年度 松本大学 「防災士養成研修講座」のお知らせ

【日時】8/25(土)・26(日)の2日間

【会場】松本大学5号館内教室 【検定試験】8月26日 講義終了後

【問い合わせ先】松本大学防災士講座事務局 TEL 0263-48-7200

全国高校生合同販売会 第6回「デパートゆにっと」開催

【日時】8/17(金)~8/19(日) 10:00~18:00
(最終日16:00まで)

【場所】井上百貨店 本店7階催事場

主催:長野県商業教育研究会 共催:松本大学

松大生協から保護者の皆さまへ

「健康食券」10%プレミアム付 受付中

好評につき、学生のための「健康食券」(生協の購買でも金券として使用可)のお申し込みを10%プレミアム付で受け付けております。初めて購入される方、再購入される方も同様です。前期学費のご案内に同封させていただきました「松大生協用振込用紙」をご使用ください。お手元に用紙がない方は下記へお問い合わせをお願いいたします。

【問い合わせ先】松本大学 生活協同組合 TEL 0263-48-7280



学生が健康食券を受け取った後、「健康だより」としてご家族のもとに、ご本人と生協から葉書をお届けします

■学生の声

- いつもありがとうございます。この食券でおいしいごはんを食べて元気になって、午後の講義も頑張ります。
- いつもありがとう!これからも元気でいてね。
- 健康食券を使って、健康な食事を心がけています。いつもありがとうございます。

編集後記

窓から外を眺めると、4月にはまだ芽吹いたばかりで若々しい緑だった中庭のヤマボウシが、燃えるような深緑の青葉に変わっています。そして、同じ様に、窓の外を歩く新入生たちの姿も、4月のキラキラとした希望に輝いた目から、自分の目標に向かって進もうとするたくましい目にも変わることにも気がつきます。目を見張るほどの大きな変化が毎日あるわけではありませんが、小さな変化の積み重ねが大きな変化へと繋がっていることをあらためて感じました。

蒼穹は今年度も年4回の発行です。2018年度も松本大学が続けている小さな変化の積み重ねを感じていただけるような紙面づくりを目指します。(記・入試広報室長 坂内 浩三)